

Tokyo Dental College Alumni Association



東京歯科大学同窓会会報 第402号

目 次

グラビア ふるさと自慢	
巻 頭 言	1
お知らせ	2
重点事業へのアプローチ	3～4
TDC アカデミア	5～7
会 務	8～10
理事会のうごき	11～12
東京歯科大学同窓会創立120周年記念	13～18
渉 外	19
事業推進部	20～25
母校だより	26
準会員のページ	27～30
支部のうごき	31～40
クラス会だより	41～45
OB 会・グループ・サークルだより	46～47
すいどうばし	48～49
庶務日誌	50～51
逝去会員	52
投稿規定	53
へんしゅうこうき	54
平成27年度評議員会報告	55～89

表紙写真の説明

・平成27年度評議員会

・東京歯科大学同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会

葛飾銅像めぐり

葛 飾

様々な会合で初対面の方に「東京の葛飾出身です」というと、多くの場合、二通りの反応が返ってきます。比較的年配の方だと「あ、寅さんの」と言われ、若い世代の方からは「あ、こち亀の」と。

「フーテンの寅」こと車 寅次郎、

言わずと知れた映画「男はつらいよ」シリーズの主人公。「男はつらいよ」シリーズは昭和44年から平成7年まで全48作が製作され、延べ7,957万3,000人の観客動員数を数える日本映画の金字塔です。

作品中に何度も登場する京成電

鉄柴又駅の駅前に、渥美 清扮するおなじみのポーズの銅像が建てられています。周辺には柴又帝釈天やその参道の店舗、寅さん記念館や山田洋次ミュージアムなどが点在し、観光地として定着しています。帝釈天裏手の江戸川には、こちらにも有名な『矢切の渡し』の船着き場もあります。

「こち亀」こと「こちら葛飾区亀有公園前派出所」は漫画雑誌「週刊少年ジャンプ」で昭和51年から現在まで連載が続く漫画作品です。主人公の両津勘吉（両さん）は、亀有公園前派出所に勤務する警察官ですが、破天荒な言動で毎回騒動を起こします。連載当初は劇画調の作品でしたが、長期連載の間に作風が変化し、近年ではギャグ&下町人情ものを扱った作品がメインです。ちなみに区内に亀有公園は実在しますが、そこに派出所（交番）はありません。



画像1



画像2



画像3

どちらも架空のキャラクターながら、葛飾を代表する有名人となっており、寅さんは舞台である柴又に、こち亀はJR 亀有駅周辺になんと14体も関連の銅像が建てられています。(画像1, 2)

寅さん、両さんに次いで、近年新たに葛飾区にゆかりの銅像が建てられました。四つ木・立石地区に建つ「キャプテン翼」像、全7体です。(画像3)

「キャプテン翼」はこちらも「週刊少年ジャンプ」で昭和56年から昭和63年まで連載されたサッカー漫画です。作者の高橋陽一氏が区内の四つ木出身で、作品中で舞台となる架空の街「静岡県南葛市」は出身校である「東京都立南葛飾高等学校」に因んだそうです。連載当時は日本中にサッカーブームを巻き起こし、多くの現役プロサッカー選手が少年時代に影響を受けたという「キャプテン翼」、現在は地域の活性に一役買っています。

「葛飾には漫画のキャラクター

像ばかりじゃないか」と思われてしまうので、最後に文化的、かつ貴重な銅像を紹介します。立石6丁目にある区の文化施設、かつしかシンフォニーヒルズに建つモーツァルト像です。(画像4) 飛行機の機内上映で「男はつらいよ」を観た当時のウィーン市長が葛飾区に親近感を持ち姉妹都市となったことから実現した、世界で唯一、オーストリア共和国の許可を受けて作製されたウィーン市王宮庭園に建つモーツァルト像の完全複製です。

結局、文化施設の紹介でも寅さんのお世話になってしまいました。が、下町情緒あふれる葛飾区、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？(平成12年卒 塚本裕介)



画像4

全国の同窓会支部・ 連合会活動の展望



会 長

矢 崎 秀 昭

同窓会創立120周年記念会は全国の同窓会支部・連合会の皆様の絶大なるご支援を得て、東京歯科大学の特色を出した記念会として大変盛会となりました。会員の皆様のご支援に心から厚くお礼申し上げます。

日頃から全国各地域の支部や連合会の総会などにお招き賜わり誠に有難うございます。全国の支部および地域支部連合会は同窓会を構成する上で最も重要な組織と位置付けられています。

多くの連合会、支部に部会におきまして、現在、最大の課題は若手同窓会会員の入会が著しく減少していることと、さらに会員の高齢化が急速に進んでいることです。

日本の社会におきましても、少子高齢社会が現実のものとなり、今の日本の社会構造が、今後も存在

し続けられるかが危惧されています。

会長に就任した4年前から、若手ネットワーク委員会を立ち上げるなど、若手の会員の支部加入促進に取り組んできました。50数年前の国民皆保険の導入を契機に歯科医師数の不足が国の大きな課題となり、その後10数年の間にそれまでの全国の7校の歯科大学・歯学部が、一気に29校となり、その結果、歯科医師過剰問題が生じ、各校の定員が抑制され、毎年の同窓会会員となる人数も大幅に減少しています。

これらの要因から、卒業生数が減少していることも若手の同窓会員の減少の一因となっています。さらに、在学している学生の父兄で母校の同窓の方は約2割を切る状況であり、以前よりその比率は著しく少なくなっています。

親から子への母校の伝統の継承が希薄となりつつあり、学生時代からの血縁イジムを伝えてゆくことの大切さから、現在、同窓会では大学の協力の基、学生に同窓会会報を手渡ししながら、同窓会や支部の活動について、教室で学生に説明し、地域における活動のためにも支部への入会を勧めています。

10月10日に北海道地域支部連合会で100周年記念会が開催され、誠に素晴らしい記念会でした。翌日に連合会のあり方についてのフォーラムが開催され、各支部から活発な意見が出されました。北海道には10の支部がありますが、実働出来る会員が数名の支部が3支部となっています。私としては、このような状況においては数支部が一つとなって新たな支部としての活動をすればと、単純に考えていました。しかしながら、フォーラムでの発言を聞いていると、各支部それぞれの歴史と伝統を持ち、現在の支部の中でも、支部の会に参加するのに数時間を要する地域もあり、会員数での単純な支部の統廃合は、多くの課題があることを実感致しました。

永い歴史と伝統を持つ同窓会の支部、連合会は単純な数学的な理論では割り切れない課題を含んでいます。会務の合理化は会員の減少から、是非とも必要なことですが、この度、評議員会で認められた、都道府県会支部長会、と評議員会を活用して、伝統ある連合会組織と支部会の存在を重んじながら、慎重に、さらに時代に対応した取り組みが必要と思われます。

お知らせ

理事会より

●評議員会速報

去る平成27年11月28日（土）、東京竹橋の如水会館において平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会が開催されました。詳細は次号に掲載されますが、速報をお知らせします。会務報告および大学の現況報告に続き、第1号議案から第14号議案までが質疑のうえ可決されました。この結果、評議員選出の経過措置は平成27年度で終了し、平成28年度より都道府県代表者会が発足します。

第15号議案 役員選挙に移り、会長立候補者1名、監事立候補者3名いずれも定数内につき採決の結果、会長は矢崎秀昭先生、監事は矢島安朝先生、春山良夫先生および藤原元幸先生に決定しました。

●120周年記念式典および祝賀会が開催されました（速報）

11月29日（日）、120周年記念式典・講演会が血脇記念ホールで、祝賀会が東京ドームホテルにて開催されました。おかげさまで、大変すばらしい祝典となりました。詳細は後程お知らせいたしますが、皆様方のご協力に深甚の感謝を申し上げます。

●同窓会本部事務局の年末年始のお休みは、平成27年12月29日（火）～平成28年1月4日（月）となります。

同窓会事業・行事

●平成28年度東京歯科大学同窓会評議員会 と き 平成28年11月予定（詳細未定）

●TDC アカデミア2016

- ・ 卒後研修
- ・ 医療教養
- ・ 臨床セミナー

詳細は同封パンフレット参照

母校関係行事・案内

●平成28年度 東京歯科大学 入学試験情報

入試日程一覧（全募集人員128名：編入学除く）

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
一般入試（Ⅰ期）	約50名	平成27年12月16日 ～ 平成28年1月27日	平成28年 2月2日	平成28年 2月4日	東京会場： 東京歯科大学水道橋校舎本館 大阪会場： TKP新大阪ビジネスセンター 福岡会場： TKP 博多駅前シティセンター
大学入試センター利用 試験（Ⅰ期）	13名				
一般入試（Ⅱ期）	約15名	平成28年2月19日 ～ 平成28年3月4日	平成28年 3月12日	平成28年 3月14日	東京歯科大学水道橋校舎本館
大学入試センター利用 試験（Ⅱ期）	5名				
編入学試験B	若干名				
学士等特別選抜B	若干名				

※編入学試験A・Bは、2年次に編入学

重点事業へのアプローチ

青森県支部・社保勉強会&ビアパーティー

青森県支部 常任理事「若手ネットワーク担当」

古川 由美子（昭和63年卒）

平成27年8月29日（土）、青森県支部では「社保勉強会&ビアパーティー」を開催いたしました。会員の勉強会・親睦会という他に若手会員や未入会員との交流という目的も持って始められたこの会も3回目となりました。

社保勉強会は20名が出席。昭和60年卒の熊谷 恒先生が講師となり指導時の留意点や周術期関係の算定方法についての解説があり、質問も多く出ておりました。

勉強会終了後のビアパーティーには18名の参加でした。昭和34年卒の松山陽一前支部長による乾杯のあと、楽しい宴会となりさらに二次会へと続き、夜が更けるまで親睦を深めました。

今回、平成27年卒業で青森県立中央病院歯科口腔外科研修医の白取佑智先生が出席してくださいました。会の目的が少しずつ浸透しているようです。今後、支部会としてはご夫婦会員の先生方にも参加しやすいようにするなどを課題とし、活動を継続していきたいと考えております。



講師 熊谷 恒先生



平成27年卒 白取佑智先生



社保勉強会



ビアパーティー



ビアパーティー



平成10年卒 船越朋輝先生と白取先生



二次会



二次会

第3回愛媛若手支援ネットワーク事業 「先輩、診療室を見学させてください」開催

愛媛県支部 若手ネットワーク担当
兵 藤 正 昌（平成11年卒）

平成27年9月12日、平成2年卒の塩崎雄生先生にご協力頂き、伊予郡松前町の塩崎歯科医院の見学会をさせていただきました。先生のご祖父、お父様と代々この地域で歯科医療に従事されており、先生で3代目とのこと。現在の3階建ての自宅兼診療所は昭和63年に完成し、2年前に改装されたとのことでした。見学会当日は、改装された時のプランナーの方もお呼び頂いて、レイアウトをもとにいろいろとご説明頂きました。「25年目の建物に感謝をこめて…よりよい空間に…」のコンセプトのもと、

バリアフリーとなった玄関、「空の青色、山のみかん色、大地のみどり色」をテーマに明るく、おしゃれにそして機能的に整備された内装、所々に改装前のものを取り入れ、アクセントとされており、本当に素敵な診療所でした。あと見学会ならではの、先輩がどのような機器を使われ、どんな薬剤等を使われているか、若手の先生方からの質問に実際にみながら、いろいろとご説明頂きました。塩崎先生には前準備から当日も長時間いろいろとご協力いただきまして本当にありがとうございました。

ました。

その後、松山市内に移動し、翌日行われる第18回 TDC セミナー えひめの講師として来松頂いた保存学講座の村松教授の歓迎懇親会を行い、遅くまで楽しい時間を過ごすことができました。翌日は早朝から「歯髓の力を再考する」の演題のもと村松教授にご講演を頂き、2日間にわたる見学会・講演会と充実した週末となりました。

今後も、先輩の先生方にご協力いただき、若手にとって貴重な機会となるような企画ができればと思っています。



私の臨床ノート 「欠損歯列をどう見るようになったか」



宮 地 建 夫 (昭和42年卒)

(その4) 経過とその評価

1回から3回まで主として、欠損歯列の病態をどのように読んでいるかという話題でした。今回は補綴後にどんな経過を辿ったか、その経過の評価について取り上げてみました。

1. 欠損パターンと欠損補綴

この症例の(図1の上段)は上顎前歯を支台歯にとりこみ、二次固定を期待した補綴設計を選択しま

した。選択理由の第一は欠損パターンです。この症例は歯式では Cummer 分類のパターン1ですが、実質的にはパターン6から、パターン8へ向かう流れの中にあると見なしました。パターン6から8へ向かう臨床頻度が多いことも一つの判断材料ですし、上下顎の歯数バランスも参考になりました。つまり欠損歯数上顎7歯、下顎4歯で上下顎の歯数差が3歯も上顎歯の喪失が先行し、歯数バランスが崩れかかり、上顎歯の保護が優先されます。



初診年 62歳



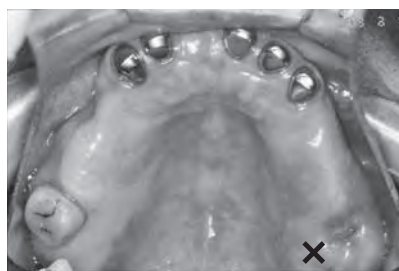
3年経過65歳 右下5番喪失



16年経過78歳 左下5番喪失



78歳



18年経過 80歳 左上7番喪失



28年経過 90歳



90歳

図1

2. 上顎前歯部の2つの補強方法

上顎前歯部を補綴的に補強する方法は一般に二つの方法が提案されています。それは一次固定と二次固定と名付けられ、一次固定は前歯部を直接固定する方法で、二次固定は可撤性義歯によって間接的に前歯部を固定する方法です。患者サイドからは一次固定を望まれる傾向にありますが、歯列条件や支台歯条件が厳しく先への不安要素が強ければ術後対応能力に勝る二次固定を選択したいと思っています。

3. 欠損補綴のリスク予測（遊離端欠損と中間欠損のリスク）

上顎は歯列内配置が良好で、中間欠損になっています。中間欠損の義歯は回転沈下がなく安定し、強固な咬合再建が獲得されますが、その分受ける力が大きくなり義歯の破損が起こりやすくなりますし、義歯を頑丈にすればどこか弱い支台歯が力負けしやすくなります。これらは欠損補綴後のリスクといえるでしょう。一方下顎は左右大臼歯部の4歯を喪失した両側遊離端欠損です。遊離端欠損では粘膜負担部分は経時的に沈下が大きく、強固な咬合再建を確保しにくくなります。多くの支台歯を動員し義歯の回転沈下を防ぐことを意図しても、その効果を長く持続することは難しいようです。強引な咬合再建を目論むと補綴側（遊離端部分に近い）の支台歯から力負けしていくことに繋がります。歯列の条件が厳しく、咬合再建の必要性が求められれば、求められるほど、それを担う欠損補綴後のリスクは高くなりますから、術後の備が大切になります。

4. 術後の経過（時系列）

下顎は食事の不便がないことに加え、右下の支台歯に不安があり、当面義歯未装着の短縮歯列を選択しました。3年経過（65歳）右下第二小臼歯の自然脱落、16年経過（78歳）左下第二小臼歯を抜歯。左右第二小臼歯を失いましたが食事の不便は訴えませんでした。状況が変わり力の分散などを考えると、この時点で下顎義歯が必要であることを説明し、装着することにしました。

18年経過（80歳）左上7が自然脱落、上顎義歯を口腔内で修理しました。

同年有髄歯だった右下第一小臼歯の歯冠水平破折

が起りましたが、そのまま根面 Cap として義歯内に取り込みました。

25年経過（87歳）定期検診の折、右下犬歯の舌側歯頸部カリエス。28年経過（90歳）左下第一小臼歯（無髄歯）の歯冠部に水平破折が起きました。

5. 経過の評価

欠損歯列のような継続疾患ではどのように補綴したかというプロセス評価ではなく、経過や結果というアウトカム評価が必要で、それが経過観察の一つの役割だと思っています。経過の評価には3つのステップが必要です。最初に初診時（補綴治療前）の読みです。どのレベルまで病態が進行しているかを捉まえます。そして第2ステップでは未来予測で、どこへ向かっていきそうかを推測します。その上で第3ステップとして、実際になにをしたら、結果どうなったか？長い目でみると予測はほとんど外れますが、そこから多くの臨床的示唆が得られるはずで、なにも予測しないで結果に一喜一憂しても経験の蓄積は期待できません。

1) 歯の生涯図による経過の評価

初診時62歳で現存歯数が17歯は当時（1980年代）の平均よりやや速い喪失速度であり、過去のデータから60歳代後半からはさらに歯の喪失速度が急カーブになりそうで“これから注意しなければ”ならない症例だろうと将来リスクを予測しました。現実には28年経過し、その間いろいろな問題があり3歯を失い90歳で14歯になりました。（図1の中・下段）3歯も喪失しましたが、28年間ですので10年間に1.1歯という速度計算になります（図2）。平均的な減衰曲線と比較するとある程度喪失の抑制効果があったとみなすことができます。最近（2012年）の調査値と比較しても喪失速度のコントロールが確認できます。

2) 咬合三角による経過の評価

初診時第三エリアの直前の位置にあって「崖縁にきたハイリスク症例」であり危険を見逃（β過誤）さない注意が必要で、少し積極的な補綴により難症例に結びつきやすい第三エリアへの突入を阻止したいと考えました。その経過をみると3歯の喪失はすべて咬合支持歯ではなかったために、咬合三角でみると水平に3歯ずれたことになり、心配した第三エ

術後経過を振り返る

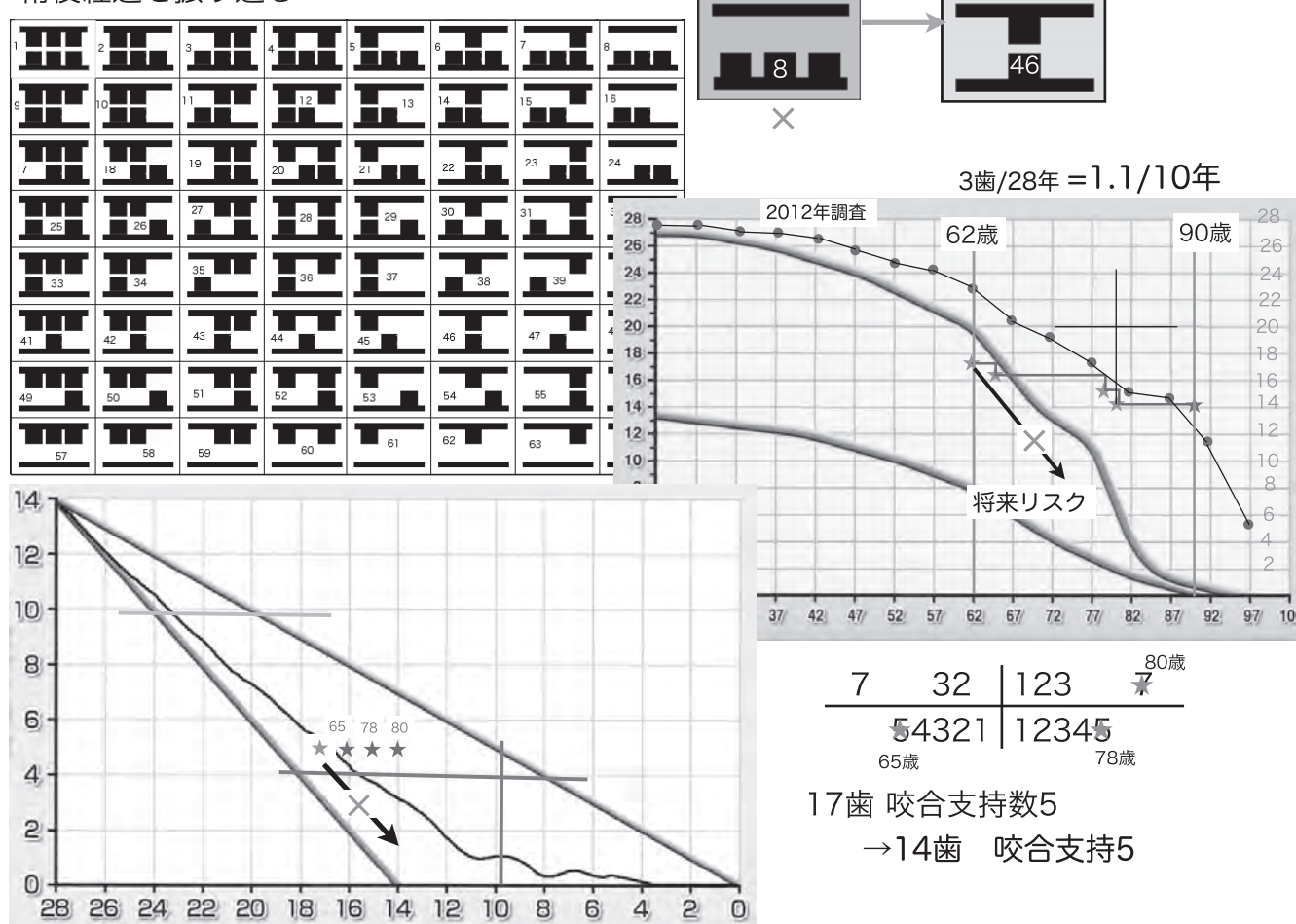


図2

リアへの陥落は回避されました。前歯部の二次固定の目論みが功を奏したとみなせないでしょうか。

3) 欠損パターンによる経過の評価

欠損パターンはパターン6から8へのコース途上にあると先読してみました。経過後の歯式ではパターン2に、口腔内の流れとしてみると、歯数バランスが改善されパターン46に近似してきたとみることができます。このパターン46は歯根膜支持同士また粘膜支持同士が上下顎に向かい合っていて、遊離端欠損部へ「加圧因子」が強く食い込むパターンと異なり歯数の減少のわりには日常生活に不満・不便の比較的少ない病型だと思っています。これも二次固定が効果的に働いたと思っています。図2を利用すると事前評価と事後評価を同一指標で比較できます。比較することで、より経過の意味が理解され体験が深く蓄積されていくのではないかと考えています。

6. 経過観察のもう一つの意味

経過観察はただ「見守る」という言葉の意味かもしれませんが歯科臨床では、経過中の変化に応じた臨床対応を含めて経過観察と呼びます。経過には臨床記録は必須です。まず患者さんとの価値観の共有がなければ長い関係は持続しません。長い経過を経験するうちに、補綴という言葉は「補いながら綴っていく」という意味だと思えるようになりました。1年間ありがとうございました。

同窓会ホームページ“会報アーカイブス”では症例写真がカラー掲載されています。

第62回全国歯科大学同窓会・校友会懇話会

7月25日(土)に第62回全国歯科大学同窓会・校友会懇話会が、本年は大阪歯科大学同窓会の当番でリーガロイヤルホテル大阪を会場に開催されました。「全国歯科大学同窓会・校友会懇話会」は通称「全歯懇」と呼ばれ、全国の29歯科大学・歯学部同窓会・校友会の代表が年に1回集まり懇話会を開催しています。参加者は各校3～5名で今回は全体で約150名でした。東京歯科大学同窓会からは、矢崎秀昭会長、宮地建夫副会長、高野博子・佐々木眞澄常任理事の4名が参加しました。

午後2時より懇話会が開催され、開会を大阪歯科大学同窓会の藤井 征副会長が、つづいて当番校挨拶を生駒 等大阪歯科大学同窓会会長が行い、その後来賓紹介と出席者紹介が行われました。そして来賓挨拶を高木幹正日本歯科医師会会長、太田謙司大阪府歯科

医師会会長、川添堯彬大阪歯科大学理事長・学長が述べられました。

この後、土居恒治大阪歯科大学同窓会副会長座長の下報告・協議が行われました。まず東北歯学部同窓会より本年5月に開催された学部創立50周年、同窓会創立40周年記念式典への参加のお礼。日本歯科大学校友会より来年10月に開催予定の校友会が主催する大学創立120周年記念式典への参加依頼。広島歯学部同窓会より本年10月に開催される予定の学部創立50周年記念式典への参加依頼。九州歯学部同窓会より平成29年7月に学部創立50周年記念式典を予定している旨。等がそれぞれ報告され、そして東京歯科大学同窓会からは矢崎秀昭同窓会長が本年11月29日に水道橋で開催予定の同窓会創立120周年記念式典への参加依頼が述べられました。

つづけて協議に移り、次々期当番校に岡山歯学部同窓会が選出されました。また、大阪歯科大学同窓会より各同窓会の会務調査の為のアンケート依頼がありました。

この後次期当番校挨拶を、村上慎一郎鹿児島歯学部同窓会会長が行い、最後に中村伸也大阪歯科大学同窓会副会長により閉会されました。

例年ではこの後懇親会に移行しますが、当日は日本三大祭の一つである天神祭で、休憩をはさみ旭堂南陵講師により「上方文化と天神祭」と題した講演がありました。その後、大阪歯科大学の前の大川で開催される神事の船渡御に参加し、全歯懇の参加者に「天神さんのお迎え」が紹介されました。(佐々木眞澄 記)



若手会員との連携 -「新進会員のつどい」ご案内-

この度、第3回新進会員のつどいを開催することとなりました。委員長を務めさせていただきます黄地健仁です。新進会員は卒後5年目までの先生方により構成されており、同窓会についてより知ってもらい、参加しやすいように作られました。メンバーには母校に残る先生、開業医や外部の機関に勤める先生など様々だと思います。その日常生活の中で、学生時代の頃とは色々な考えが変わってきたかと思います。だからこそ学生時代を少しフィードバックする時間が必要ではないでしょうか？「共に勉学や部活に励んだ仲間や、先輩・後輩と同じテーブルで先生の話を聴く」今なら昔に比べ聴いた話に対する感じ方が少し違うと思います。「俺はあの講演聴いて、こう思ったな」というような会話が懇親会で聞けることを楽しみにしています。

今年度は新進会員の先生方はもちろんのこと、そうでない学生やOBの先生方も是非ご参加下さい。参加は無料、当日参加もOKです。当日お会いできることを楽しみにしています。

実行委員会委員長 黄地健仁（平成23年卒）



【新進会員のつどい実行委員会メンバー】

黄地 健仁、野末 真司（平成23年卒）
石川 宗理、岡嶋 伶奈（平成24年卒）
木村 基善、山田 祥（平成25年卒）
田中 亜生、橋口あやこ、
佐藤 正敬（平成26年卒）
大村 雄介、鷺尾紗裕理（平成27年卒）

写真

上段左から：大村、橋口、田中、鷺尾

下段左から：山田、野末、黄地、木村



新進会員のつどい

平成28年1月31日（日） 13:00～

東京歯科大学水道橋校舎本館 13階

*今すぐカレンダーをチェック!!

講演会 講演要旨 (講演抄録より抜粋)

『子連れ留学記～歯科医師，研究者そして母として～』

東京歯科大学口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室 講師
大久保真衣 (平成11年卒)

平成26年8月1日より1年間，当時小学校4年生になる男女の双子とともに，英国エディンバラにあるクィーンマーガレット大学言語聴覚科に長期海外出張をさせて頂きました。色々な経緯があり言語聴覚科に席を頂きました。結果は求められるものの，子育て優先にして頂いた事は大変感謝しております。そして双子が被験者として他のスタッフの研究に参加したことも，親の仕事の理解という点でも興味深かったです。また現地校に通う事になった，英語が話せない高学年の双子が，悪戦苦闘の学校生活を送り，最後は「帰りたくない!」と言っていました。外で働き，家で子供と向き合い真剣勝負，ママ (パパ) コミュニケーション活動，家の不具合は当然すぐには直してくれない等々，**歯科医師，研究者そして母として，沢山の経験が出来た事**をご報告できればと考えております。



『厚生労働省における歯科技官の仕事について』

厚生労働省医成局歯科保健課 歯科衛生係長 大平 貴士 (平成22年卒)

現在，日本は多様化するライフスタイル，人口の急速な高齢化，医療技術の進展により，国民の求める歯科医療サービスも高度化・多様化してきています。

人口動態統計によると，2011年の高齢化率は25.1%となり，今後，医療・介護の需要がさらに増大すると予測されるなか，国民の求める歯科医師像も確実に変化してきております。

そのような背景を踏まえ，厚生労働省では本年より「歯科医師の資質向上等に関する検討会」を立ち上げて議論を行っているところです。行政で働く歯科医師からみた歯科保健医療について，本検討会のデータなども参考としながらお話ししたいと思います。



『ぼくが歯医者を楽しむようになった話と若手に伝えたい3つの仮説』

株式会社 Denrich 代表取締役 角 祥太郎 (平成16年卒)

僕は歯科大学を卒業して10年ほどの歯科医師です。卒業してすぐの頃，もっと言うと学生の頃『歯医者なんて面倒くさい』と思っていました。歯医者になる自分にずっと諦めを持っていました。しかし，様々なきっかけや経験，出会いを経て急に歯科に誇りを持ち，日々の診療も非常になりました。改めまして，僕は歯科に関する会社の代表取締役を勤める歯科医師です。僕の夢は，広く世間一般の方々に歯科に関しての関心をもっともっと持ってもらうことです。その夢に向かって日々の診療，海外事業，講演などの活動をしています。今回は僕がいただいたきっかけ，経験そして若手の皆さんにお伝えしたい3つの仮説をお話させていただきます。



理事会のうごき

第4回理事会

平成27年9月19日（土）午後2時30分

於 特別会議室

出席 32名

議長 矢崎会長

会長挨拶

同窓会120周年記念式典に向けて、先般9月15日、当日役務をお願いする同窓会各種委員会の先生方にお集まりいただき、当日の具体的な打合せと準備の決起大会が行われた。各地域の支部・連合会に行くと、会員の120周年に対しての理解も深まり、心より御礼申し上げる。広報でも120周年に関する資料を出していただいております。高山先生、血脇先生をはじめ、多くの先人の先生方の歯科医学に対する研究、医療に対する取り組みなどから、大学を愛する気持ちが強く感じられる。この大学を愛する気持ちを次世代の人に伝えられるような会となるよう、よろしくご協力をお願いする。

大学の方では、西棟の建設が着々と進んでいる。臨床研修医あるいは学生の臨床実習にはどうしても必要な施設であり、また、歯科衛生士短期大学の創設ということも含まれる。建築費の高騰もあり、是非とも同窓の先生方には支援していただくようお願い申し上げます。

本日は、11月の評議員会での議題案が出ている。その中で特に、未入会対策、これから増加する女性会員のこと、若い人達にいかに同窓会に入っていたか、この場でも十分な意見と協議をしていただくことを期待する。

黙 祷

横須賀鎌倉支部・森田多賀雄氏はじめ14名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

会務報告ならびに承認

- 1) 平成27年7月17日から平成27年12月24日までの日程を報告。

2) 各部報告

- (1) 総務厚生部：①逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。②平成27年度会員数報告。③没後叙勲受章者について1件報告。④平成27年度評議員名簿の報告。⑤罹災報告が6件提出され、罹災共済金を支給する旨の報告。⑥総務・厚生委員会報告。⑦ゴルフ大会委員会報告。⑧母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑨情報ネットワーク推進会議報告。⑩会務運営協議会報告。⑪東日本大震災対策部会報告。⑫同窓会創立120周年記念事業実行委員会報告。⑬新進会員のつどい実行委員会報告。⑭学年代表者会報告。⑮参与の委嘱について報告。
- (2) 会計部：①地域支部連合会学術講演会助成金の支出について2件報告。②支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について7件報告。③平成27年8月末現在現況報告。
- (3) 渉外部：①渉外部委員会報告。②参議院議員島村 大総決起集会参加協力願い。
- (4) 広報部：①広報部委員会報告。②同窓会 HP アクセスレポート報告。
- (5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②若手ネットワーク委員会報告。③卒後研修委員会報告。④医療教養委員会報告。⑤臨床セミナー委員会報告。⑥アカデミア生涯研修企画会議報告。⑦アカデミア情報オンデマンド配信検討会報告。⑧ TDC 卒後研修セミナー2015 報告。⑨二校会主催若手研修セミナー報告。

協議事項

- (1) 推薦会員入会願いについて2件承認。
- (2) 平成27年度評議員会協議題として支部加入に関する提案を承認。細部は会長一任。
- (3) 財産（備品）廃棄処分について処分案を承認。
- (4) 平成28年度入会金・会費の金額案を承認。
- (5) 平成28年度共済負担金の金額案を承認。
- (6) 次年度の理事会、常任理事会の日程を承認。
- (7) 東京歯科大学同窓会平成28年度事業計画（案）

を承認。細部の文言については、会長一任。

(8) 東京歯科大学同窓会平成28年度収支予算（案）

を承認。細部の修正については会長一任。

(9) 平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会日程（案）を承認。

(10) 平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会議案を承認。細部の修正については会長一任。

(11) 評議員会協議題を承認。

(12) オンデマンド配信について承認。細部については会長一任。

第5回理事会

平成27年10月24日（土）午後2時30分

於 特別会議室

出席 27名

議長 矢崎会長

会長挨拶

いよいよ1カ月後に、評議員会と同窓会創立120周年記念の会が開催される。創立120周年記念会は、特に地域理事の先生方のご協力により、定員800名を超える申し込みを頂いた。これも、同窓の東京歯科大学を愛するという気持ちの表れではないかと考える。今回の記念会は、血脇先生にゆかりのある血脇記念ホールで記念式典と記念講演が開かれ、別に東京ドームホテルで祝賀会が開かれる。二つの会場になるので、誘導等にご協力をお願いする。

既にご存じのように、日本歯科医師会は大変遺憾な状態になっている。これからの歯科界を考え、東京歯科大学が歯科界の中で存在感を示すためにも、早急にかつ慎重に対応を決めていきたいと思っている。120周年のまっただ中に選挙が行われるということで、歯科界創成期の風雲児の高山紀齋先生・血脇守之助先生の魂が、歯科界を良くするために120周年記念会に選挙を持ってこられたのではと考えることもできる。素晴らしい120周年記念会になることを期待している。

大学も、西棟の建設が進んでいるが、ここに来て大変建設費が高騰し、さらに千葉病院・市川病院の財政的な問題や今後の問題など、多くの課題を抱えている。引き続き、同窓各位にはご協力をお願い申

し上げる。

黙 祷

小樽支部・石山和平氏はじめ6名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

会務報告ならびに承認

1) 平成27年9月24日から平成27年12月24日までの日程を報告。

2) 各部報告

(1) 総務厚生部：①逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。②罹災報告が2件提出され、罹災共済金を支給する旨の報告。③高齢者叙勲受章者について1件報告。④総務・厚生委員会報告。⑤ゴルフ大会委員会報告。⑥母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑦情報ネットワーク推進会議報告。⑧会務運営協議会報告。⑨東日本大震災対策部会報告。⑩同窓会創立120周年記念事業実行委員会報告。⑪新進会員のつどい実行委員会報告。

(2) 会計部：①支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について5件報告。②東歯祝い金への支出を報告。③歯学体同窓会長賞への支出を報告。④平成27年9月末現在現況報告。

(3) 渉外部：①渉外部委員会報告。

(4) 広報部：①広報部委員会報告。②同窓会HPアクセスレポート報告。

(5) 事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②若手ネットワーク委員会報告。③卒後研修委員会報告。④医療教養委員会報告。⑤臨床セミナー委員会報告。⑥アカデミア生涯研修企画会議報告。⑦アカデミア情報オンデマンド配信検討会報告。⑧TDC卒後研修セミナー2015報告。⑨二校会主催若手研修セミナー報告。

協議事項

(1) ホームページへの投稿・問い合わせについて協議、承認。

(2) 平成27年度評議員会議案・協議題を協議の結果承認。細部の修正については会長一任。

東京歯科大学同窓会創立120周年記念

第43回同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて

今年のゴルフ大会は9月3日木曜日、埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部東コースにて、同窓会創立120周年記念行事の一環として開催されました。霞ヶ関カンツリー倶楽部は、2020年に開催される東京オリンピックのゴルフ競技が行われる日本を代表するゴルフ場です。武蔵野の豊かな自然に恵まれた歴史ある凜とした雰囲気を持つ名門ゴルフ場で、参加者の皆様はほどよい緊張感の中で楽しくプレーをされておられました。

競技はアンダーハンドの18ホールストロークプレーで行われ、ハンディキャップはダブルペリア方式で算定しました。当日の参加者は142名で、その内シニア（65歳以上）は47名。女性は14名でした。今年は平日開催にもかかわらず、予想人数を大幅に超える180名余の参加希望がありました。増枠や関係委員の競技参加見合わせなど努力をいたしました。何名かの先生にはキャンセル待ちやお断りをせざるを得なく、ご迷惑をおかけいたしました。

懇親会は中川路総務委員長の司会で、矢崎秀昭大会会長・同窓会長の挨拶から始まり、来賓のご挨拶を櫻井 薫教授と佐藤 亨教授にいただきました。続いて高橋義一専務理事より創立120周年を迎える同窓会行事についてのお話がありました。そして福本恵吾同窓会担当理事からの会計報告の

後、本大会開催にあたりご協力いただいた春山良夫埼玉県支部長のご発声で乾杯となりました。乾杯後、大会協賛をいただいたカーディーラーのAUDI練馬新宿の支店長から挨拶があり、参加賞や賞品の提供がありました。

表彰式は中野正博実行委員長の大会概要報告の後、大谷義之総務副委員長による成績発表と賞品授与が行われました。優勝は安藤公美先生（目黒H15）で同窓会長杯として矢崎会長よりトロフィーが授与され、準優勝は小野寺保好先生（埼玉県H3）で学長杯が、三位は藤波 齊先生（埼玉県S45）で理事長杯がそれぞれ佐藤教授より授与されました。続いてベストグロス賞はスコア79でラウンドした四名で、喜田賢司先生（静岡県H2）、小野寺保好先生（埼玉県H3）、町田貴敏先生（板橋H4）、松村栄治先生（千葉県H9）に水道橋病院長杯としてそれぞれ櫻井教授より授与されました。シニアベストグロス賞はスコア73の坂井 清先生（三重県S47）が水道橋病院長杯として、グランドシニアベストグロス賞はスコア79の前島洋志先生（中野S44）が千葉病院長杯として櫻井教授よりそれぞれ授与されました。女子ベストグロス賞はスコア69の全体優勝者でもある安藤公美先生（目黒H15）でこれも千葉病院長杯として櫻井教授より授与されました。



他に四位から三十位までが入賞としてギフト券を、そして三十位以降は五位刻みで百位まで、百位からは十位刻みで百四十位までを飛賞として賞品を贈りました。特に百二十位は120周年記念賞としてAUDIのキャディーバッグが贈られました。

本大会の開催にあたり大学当局ならびに同窓会本部、同窓会埼玉県支部から多大な協力を承りました事に深く御礼申し上げます。さらに大会運営にお手伝いいただいた同窓会事務局ならびに霞ヶ関カンツリー倶楽部の皆様に感謝申し上げます。

来年の大会は埼玉県の武蔵丘ゴルフコースにおいて秋分の日である9月22日（木）に祝日開催の予定です。より盛大で意義ある楽しい大会にする所存でありますので宜しくお願いいたします。

最後になりましたが同窓会会員の皆様の益々のご活躍をお祈りいたしましてご報告とさせていただきます。

（大会総務委員長 中川路健司）

優勝

ベスグロ

安藤公美先生（平成15年卒）



「仲間に感謝」

まず初めに同窓会ゴルフ大会の開催にあたりご尽力いただきました大会関係者の皆様に深く感謝いたします。

同窓会創立120周年記念大会で、ベスグロ優勝という結果に私自身大変驚いております。このような栄誉を与えていただき有り難うございました。昨年の大会で夢のようなスコアを出してから、ゴルフに対する意識が大きく変わりました。

ゴルフが好きで楽しくて、ただそれだけで良いと思っていた私ですが上手くなるために本気で頑張ってみようと思うようになりました。毎日の練習はもちろんのこと、実戦を積むことを自らに課し、沢山の競技に参戦、そして自分を鍛えられる場所としてホームコースを持ちました。

ゴルフは人生の縮図だと言う人がいます。ゴルフも人生も我慢我慢、

良い時は謙虚につらい時は辛抱強く、そして地道に努力する。これに勝る王道は無し。ゴルフは一人では絶対に上手くなれません。いつも身近で叱咤激励、切磋琢磨してくれる仲間に感謝します。

2016年のリオ五輪で112年ぶりにゴルフが正式種目として復活します。その4年後の東京五輪は霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催されます。今回プレーした東コースは1年かけてコース改造されるそうで、どんなコースに生まれ変わって、どんな選手がどんなプレーを魅せてくれるのか今から楽しみです。

最後になりましたが、名門霞ヶ関カンツリー倶楽部で楽しい大会を運営していただきました実行委員の先生方、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



120周年記念フォーラム 『明るい歯科医療を模索する』を開催

去る9月13日曜日に、同窓会創立120周年記念行事の一環として、事業推進部の社会保障制度研究委員会主催の記念フォーラムが、水道橋校舎本館14階にて開催された。講師として、元中医協の委員長である学習院大学経済学部教授の遠藤久夫先生（現社会保障制度審議会医療保険部会部会長）に現状の医療保険制度、今後変わっていく社会保障政策の概要と内閣諮問機関の考え方など基調講演でわかりやすくお話しいただいた。東京歯科大学社会保障学の上條英之教授に、遠藤先生のお話を踏まえて『明るい歯科医療を模索する』題名に沿って、受診率の増加や歯科医療費の自然増など今後を占う明るい要素の講演を頂いた。シンポジウムには、都歯保険担当理事稲葉孝夫先生、参議院議員厚労委員島村 大議員、(株)ミナケア奈良夏樹先生、当委員会委員長相庭常人先生が加わり活発な質疑応答が行われた。また、会場



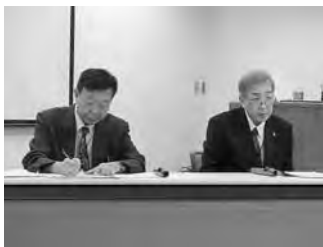
からも多数の先生の質問や意見が出て活発なシンポジウムとなった。

総括として、上條教授より「これからの歯科医療の在り方とか、健診の在り方とか未だ歯科として位置づけが明確でない保健サービス等を整理していかなければならない」という意見があった。『明るい歯科医療』という面では、地道にエビデンスを積み重ねていかなければならないとはいえ、歯科界とし

てのメリットが大きいものが出てくる可能性が大いにあると思う。今後それをみんなで考えていかなくてはならないのではないかと締めくくりがあった。

会場には本同窓会会員だけではなく、東京医科歯科大学など他校の参加者も見られ、同窓会創立120周年記念にふさわしい充実した素晴らしいフォーラムになった。

（常任理事 蛭谷剛文）



120周年記念リベラルアーツセミナー

講演会の当日、水道橋校舎の前で本間先生にお会いしました。

本間先生は、「僕、嵐山先生の大ファンなんです。だから、今日の講演会はとても楽しみなんです！」と言いながら、鞆の中から、大切そうに嵐山先生の著書を出して見せてくれました。

・・・ということで、今回の報告は本間先生に書いていただくことにしました。さすが、大ファンというだけあって、嵐山先生のお話が蘇ってくるような原稿をいただくことが出来ました。リベラルアーツの講演会では、こうした会員の先生の知らなかった一面をも垣間みる事が出来ます。皆さんも是非、一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

広報部委員 佐々木葉子

『作家の「奇妙な」食欲』～漱石・白秋・賢治・堀 辰雄など～ 嵐山光三郎

本 間 敬 和（平成4年卒）

平成27年10月25日(日)東京歯科大学同窓会 創立120周年記念 リベラルアーツセミナーとして、作家の嵐山光三郎先生をお迎えして『作家の「奇妙な」食欲』～漱石・白秋・賢治・堀 辰雄など～120周年記念講演会が東京歯科大学水道橋校舎本館13F 第1教室で行われた。同窓会創立120周年を迎え、TDC アカデミアが今年度から本格始動を記念しての講演会である。今年度、医療教養委員会では、「食」をテーマにリベラルアーツ・リレー講座を開催しており、本講演でもそれに関連し、嵐山光三郎先生の著書で近代日本の文学者たちの暴食ぶりから、文学者を新鮮な切り口から捉えなおした

「文人悪食」「文人暴食」などの内容を題材にお話しを頂いた。

もともと文学好きな私にとって文豪たちの食生活に興味を抱いていたためにとても興味深い講演であった。今回、嵐山先生のご講演内容と私の私的感想を交えて講演内容を紹介する。

当日は、講演時間の関係もあり12人の文豪の悪食についてご講演を頂いた。その中で、心に残った講演内容を紹介させて頂く。

1. 夏目漱石「臨終の際に何を食べたのか？」

「臨終の時、ふと眼を開けた夏目漱石の最後の言葉は「何か喰いたい」という、この期に及んで未だに満たし得ぬ食欲の願望だった



たのである。で、早速医者の方から一匙の葡萄酒が与えられることになったが、「うまい」最後の望みをこの一匙の葡萄酒のなかに味わって、又静かに眼を閉じたのである。」

実に、考え深い内容である。漱石の大好物は落花生を砂糖で絡めた駄菓子、何と当時では考えられないアイスクリーム製造機を自宅裏庭に持っていた程の甘いものの好きとのことである。甘いものの好きの漱石が臨終の時に葡萄酒を一匙とは考え深いものだ。

2. 森 鴎外「饅頭茶漬け（ごはんの上にアンコ入り饅頭を割ってのせ、煎茶をかけて食べる。）」

森 鴎外、私にとって名前を聞くだけで震えが出る文豪である。



熱く語る嵐山先生



著者直筆、サイン中

名作山椒大夫、また渋谷抽斎の凄みのある口語文は極限である。45歳に軍医の最高ポスト（陸軍軍医総監・陸軍省医務局長）となり、官僚として栄達を望み「余ハ石見人森林太郎トシテ死セント欲ス」と気迫のこもる遺言を残しこの世を去って行った鷗外ファンにとってはやや拍子抜けなところがある。

3. 永井荷風「持てあます西瓜ひとつやひとり者」

荷風の友人が大きな西瓜を送ってくれたことへの感想で、荷風は送られた西瓜に迷惑している。一人暮らしの身へ「家族団らんの象徴」とも思える西瓜を送られた辛さがあるとの意だそうだ。まさに、男の生き様そのものとばかりに生き抜いた文豪永井荷風らしい言葉と感嘆する。荷風の父親は、高級官僚で家の気分はハイカラで、若くして海外生活を体験している荷風の舌は若くして奢っていたとのことである。慶応大学教授時代、授業はきちんとやるものの、私生活では芸妓を身請けしては捨てる放蕩三昧と他教授から批判された。荷風にとって料理は女がらみであり、女なくして料理を楽しむことは出来なかったそうである。昭和32年頃より浅草の洋食

屋アリゾナにいりびたる。アリゾナでビール1本と何か一品の洋食を注文し、五百円札一枚置いて釣り銭をとらず店を出るのが常であったそうだ。

昭和34年、吐血して死んでいる荷風を通いの手伝い婦が発見した。吐いた血に混じって飯つぶが散っていた。最後に食べた大黒屋のカツ丼の飯つぶであろう。荷風は、吐いた血まみれの飯つぶのなかに、最後の作品を見ていたのではないだろうか。という嵐山先生のことばに私は目頭が熱くなった。

4. 堀 辰雄「蝕歯（むしば）にともる洋燈」

堀 辰雄は、やせすぎで精神病質であったが、そのじつ美食家で食への執着心が人一倍強かったそうである。終生結核を患っていたため、食べたくても食べられなかったそうである。そんな堀辰雄が残した詩のなかにむし歯の詩があると嵐山先生が朗読された。

硝子の破れてある窓
僕の蝕歯よ
夜になるとお前のなかに
洋燈（ランプ）がともり
ぢつと聞いてみると
皿やナイフの音がしてくる



嵐山先生直筆の当日資料

むし歯も堀 辰雄がよむと文学的に思われ、何か心に暖かいものを感じずにはいられなかった。

数々の文豪達。これら文豪達の作品を読むことにより、誰しもが心で感じ共感し、そして崇拜する。しかし、文豪達に会えるのは作品の中でしかない。また、文豪達の私生活を書き記した書物は数あれど、どのようなものを好んで食し何処に食しに行ったということに焦点をしばった書物は少ない。

今回、嵐山先生の講演会を拝聴して崇拜や尊敬していた文豪達が「何だ…普通の人なんだ」とみじかに感じるようになった。

血脇守之助先生が「歯科医たる前に人間たれ」というお言葉のように人間としての教養をより深く感じさせて頂いた嵐山光三郎先生、そして東京歯科大学同窓会に深く感謝するとともに稿をしめたいと思う。



第300回東京歯科大学記念学会・総会を開催

去る10月17日(土)、18日(日)の両日、東京歯科大学水道橋校舎新館において、第300回東京歯科大学記念学会・総会が開催された。第一日目の午前中は、8Fおよび11Fの講義室において一般口演が行われると同時に、7Fの実習講義室においてはポスター発表が行われた。また、午後には来年3月に定年退職を迎えられる、市川総合病院放射線科教授の青柳 裕先生、同整形外科教授の白石 建先生、そして歯科理工学講座の河田英司先生による特別講演が開催された。2日目の午前中には、国立研究法人 宇宙航空研究開発機構シニアフェローで、宇宙科学研究

所宇宙飛翔工学研究係教授の川口淳一郎先生が登壇され、「やれる理由こそが着想を生む。」と題した記念講演が行われた。先生は、挑戦無くして成果は得られることはなく、対峙すべきは自分自身であり、いかにオリジナリティが大切かを力説された。また、午後には「2025年問題の向こう側」と題したシンポジウムが開催された。シンポジストは、厚労省保険局長唐澤 剛先生、鳥取県開業の足立融先生、本学市川総合病院長の西田次郎先生、口腔病態外科学講座の片倉 朗先生が務められた。超高齢化社会を迎える我が国において、これからの歯科医師の役割



や育成についての有意義な意見が交わされていた。

なお、2日目の昼には8Fの講義室において、東京歯科大学学会評議員会、総会が開催され、宮地健夫同窓会副会長の議長の下、スムーズに報告、協議が進行した。

(広報部委員 古澤成博)



「参議院議員 島村 大君を励ます会」

10月1日（木）午後6時30分より、ANA インターコンチネンタルホテル東京において参議院議員島村 大先生（昭和60年卒）の当選後初めてのパーティーが、悪天候の中にも300名以上の応援者が参集して盛大に開催されました。

島村先生は、一昨年の参議院議員選挙において、神奈川県選挙区において113万票余りの得票数を獲得し、見事全国トップの獲得得票数で当選されました。

その後、皆様もご存じのよう

に、我が国の将来と歯科界の発展のために大変活躍されております。

パーティーは溝手顕正自民党参議院議員会長の開会で始まり、塩崎恭久厚労大臣、林 芳正農林大臣、上川陽子法務大臣よりそれぞれ来賓挨拶があり、つづいて島村先生が謝辞を述べられました。その後大勢の国会議員が登壇し小此木八郎自民党神奈川県連会長の乾杯の発声で和やかなうちに進行しました。

途中で菅 義偉内閣官房長官がお見えになり、ご挨拶の後会場中を回られ歓談されました。

最後に閉会を矢崎秀昭同窓会長が述べ、パーティーは盛会のうちに終了いたしました。

励ます会開催にあたり、全国より多数の同窓のご参加・応援有難うございました。今後、島村先生の益々のご活躍を期待したいと思います。



事業推進部

●二校会●

二校会講演会

平成27年9月27日に日本大学桜門会館で若手支援セミナー(2015)が二校会主催で行われた。

山本雅通東京歯科大学同窓会学術委員の進行で矢崎秀昭東京歯科大学同窓会会長と小幡 純日本大学歯学部同窓会会長の挨拶をいただいた後、座長の藤川謙次日本大学歯学部同窓会学術委員長より講師の紹介があり講演が始まった。演題は日本を含むアジアの食品衛生実態および動物由来感染症発生状況ーこんなにも危険な食事情ーであった。演者の森田幸雄先生は日本大学獣医学科卒業の獣医師で群馬県の職員から転身し、公募で2009年に東京家政大学の准教授にそして2013年から東京家政大学食品衛生学第二研究室教授を務めている。まずはイヌサフランとフグによる中毒死がつい最近もあったことに触れられた。日本の食品衛生状況は極めて衛生的であるように思われるが食品流通や嗜好の変



化により食中毒の発生件数や患者数は50年ほど劇的には減少していないとのデータを示された。各国の食肉の処理状況を視察した経験上、アジアにおいては衛生的な処理がなされていないところが多いため、渡航時には気を付けるようにとの説明があった。鳥インフルエンザの話題に続き、外国では狂犬病がいまだに多いため犬に注意することと、犬にかまれてから死に至るまでの興味深いスライドも見せていただいた。

細菌性・ウイルス性食中毒に対しては食中毒予防三原則として・つけない・増やさない・やっつけることで、各食材の危険性(牛生



肉はO157、鶏肉・牛レバーはカンピロバクター、卵はサルモネラ、煮物はウェルシュ菌などを考えて対策を実施し、特にノロウイルスは嘔吐・下痢患者からの二次汚染・二次感染に注意するようにとのことと、動物(子牛・山羊・羊はO157、カメ・ヘビはサルモネラ、犬はカンピロバクター)と触れ合った後は手を洗うことと、自然毒による食中毒防止のために食用植物と確実に判断できないものは絶対に口にしないようにとのことであった。そしてノロウイルスはRNAタイプのため変異しやすく今年は流行の兆しがあるため注意してほしいとのこと



であった。

休憩後の後半は「根管治療」で失敗する本当の理由という演題で演者は日本大学歯学部歯学科歯科保存学2鶴町 保教授で、座長は加藤賢祐東京歯科大学同窓会卒後研修委員会委員長であった。演者紹介の後、「若手の先生から根管治療でこんなことを聞かれます。Q. 根管治療で失敗しない方法を教えてください? A. 私も知りたいです。」というスライドから講演は始まった。根管治療失敗の主たる原因は細菌の残留と増殖(バイオフィルム)であり、失敗となる誘発原因は根尖部過剰拡大, トランスポーテーション, パーフォレーションに加え根管消毒剤(FC, CC)の過剰使用が考えられるとのことであった。そして実際の症例について供覧され、感染根管治療の基本治療ステップについての解説, 症例分析, 根管治療における変革注目点について解説された。

質疑では根充の時期, 水酸化カルシウムの使い方が会場より、座長より外科的アプローチへの移行の見究めについての質問がよせられた。最後に一言として「誰しも失敗したくない。成功は善, 失敗は悪と考えられがちであるが、失敗や挫折は単なる悪ではない。苦しい思いから学び、反省から「智慧」に変えていく向上心さえあれば、失敗はむしろ臨床を豊かにする大切な経験になる。」とのことで講演が終了した。

そして黒沼栄子日本大学歯学部同窓会副会長より感謝状の授与、北村信行日本大学歯学部同窓会副会長より閉会の言葉があり後援会



は終了し、場所を移して懇親会となった。高橋義一東京歯科大学同窓会専務理事の進行で、立花 司日本大学歯学部同窓会専務理事の挨拶、小幡 純日本大学歯学部同窓会会長から演者へお礼が手渡され、矢崎秀昭東京歯科大学同窓会

会長の乾杯で宴が始まり交流を深め合った。藤川謙次日本大学歯学部同窓会学術委員長、加藤賢祐東京歯科大学同窓会卒後研修委員会委員長からのお礼の言葉、財部正治東京歯科大学同窓会副会長の閉会の辞で終了となった。



●臨床セミナー委員会●

TDC アカデミア 臨床セミナー2016のご案内

臨床セミナー2016 講師陣



原 節宏 先生



木ノ本喜史 先生



下地 勲 先生



宮地建夫 先生



藤関雅嗣 先生



野嶋昌彦 先生



鷹岡竜一 先生

「スタンダード・スキルアップ・アドバンス」のコンセプトで始まりました臨床セミナー2015は、セミナーすべてが高評価を得て終わることが出来ました。参加された先生方には心より御礼申し上げます。臨床基本手技から専門的知識と技術、臨床レベルの向上につながるようなセミナーを今後も提供していく予定です。

さて、臨床セミナー2016では、顎関節症のとらえ方から新しい対応、歯の移植・再植の実際、そして2015で希望者が多くキャンセル待ちが出ました、エンドセミナー、コーススセミナーを開催いたします。2016年も日常臨床からさらなる一歩へ、患者さんからの要望に応えるべく、治療のバリエーションが広がる内容で企画されております。是非ご参加いただき、生涯研修セミナーとして先生方の診療の一助となれば幸いに存じます。

顎関節症セミナー

『顎関節症のパラダイムシフト ～とらえ方からマイクロストレッチまで～』

顎関節症の治療は、大きく変化してきています。大学病院等でも従来は口腔外科での診断や治療が多く行われてきましたが、最近では「痛み外来」などで口腔顔面痛の一分野としてとらえ、治療が行われるようになってきています。治療の内容も手術や咬合に関するもの、あるいはスプリント療法などから理学療法や運動療法といった、いわゆるリハビリテーション領域の治療が行われるようになってきています。一般臨床医として最近の知見を加えた顎関節症の診断や初期治療ができることは重要であり、理学療法のような継続的な患者指導が必要で非侵襲的な治療であれば、なおさら知識を得ておくことが必要です。今回は、顎関節症の治療の変遷もふまえた総論から顎関節症の筋膜痛のマッサージ療法を主体としたマイクロストレッチ療法の各論まで幅広く解説いたします。

エンドセミナー

『今こそ見直そう！あなたの根管治療2016 ～根管治療の最新知識と基本技術の習得～』

近年の根管治療は、Ni-Ti ファイルの登場や外科用顕微鏡の使用に伴い、従来の根管治療に比べより精度の高い治療へと変化してきています。しかしこれらの最新技術を様々駆使しても、基本的な歯内療法の方針やコンセプトをしっかりと理解し、技術を習得していなければ、良好な治療結果には結びつかないでしょう。本セミナーでは、根管解剖を理解した上での髓腔開拓、根管拡大・形成、洗浄、根管充填などの歯内療法の基本的な内容について、一つ一つ再度見直していただきます。さらにはNi-Ti ファイルや拡大鏡などの有効的な使い方を講演や実習から習得していただきます。先生方の日常臨床のレベルアップへとつながる、実践的な2日間のセミナーです。

移植・再植セミナー

『明日からの臨床に活かせる歯の移植・再植』

歯の移植・再植法は、近年確立的な方法として臨床応用されています。保存困難として従来は抜歯されていたものが再植法で温存出来たり、欠損部や欠損となってしまう部位に対して智歯を移植、植立できるのならば、治療のバリエーションが広がります。また、歯根膜が存在する治療法は、臨床家にとってもインプラント治療とは別な価値観があります。しかしながら、アドバンス的な治療なため未だ行ったことがない方、あるいは応用したものの予後不良で抜歯に至ってしまった方もいるかと思います。また、ケースによっては治療の前準備と適切な術式があり、その臨床的対応が広く知られておりません。本セミナーでは、移植・再植の治療像から臨床応用に至るまで詳細に解説いたします。すでに臨床経験がある先生には確固とした知識と術式を、経験のない先生には明日から臨床応用できる一歩となるようお教えいたします。

補綴セミナー

『明日から取り組めるコーヌスクローネ2016』

コーヌスクローネ義歯を臨床に取り入れたいという思いはあるものの、複雑な治療ステップの上に体系的に学ぶ機会がなかったため、なかなか着手できない方は多いかも知れません。本セミナーでは、欠損歯列におけるその適応、実際の製作、装着、調整にいたるまでの手順について解説いたします。製作過程に生じやすい誤差や不適合への対応など、臨床に則した形でお伝えいたします。実習では、クラスプ義歯からテンポラリーコーヌス義歯への移行や支台歯形成、印象採得が修得できるよう学んでいただけたと思います。また、装着後のトラブルとその対処方法についても伝授いたします。明日から臨床に応用できるようになるよう、コーヌスクローネ義歯について理解が深まるコースです。

学術情報、セミナーのオンデマンド配信

臨床セミナー委員会では、インターネットウェブサービス Doctorbook academy の協力を得て、会員の先生方に新しい形の学術情報、臨床テクニックの紹介など、動画による情報配信をいたします。また将来的には、オンデマンド用のセミナーも配信したいと考えております。Doctorbook academy のサイトに、東京歯科大学同窓会の枠を作成いたしました。まずは、先生方のご登録をお願い申し上げます。詳細は、同窓会ホームページに記載されています。これから配信される同窓会事業PR、セミナー案内、トピックス、セミナー講演ダイジェストのコンテンツ等にご期待下さい。

(事業推進部 アカデミア生涯研修 木暮隆司)

●卒研レポート●

TDC アカデミア 2015 医療教養 フロントランナーセミナー

No.2 これからの歯科医療を考えよう

～専門医としての生き方～

9月10日の19時30分から21時00分までの短い時間でしたが、若い先生にとっても臨床経験の長い先生にとってもわかりやすい非常に為になる講演でした。

講師は昭和57年卒の伊澤常泰先生で本学御卒業後、東京医科歯科大学大学院を修了されて、コロンビア大学に留学され、ペンシルバニア大学でマイクロサージェリーコースも修了されています。アメリカでは口腔生理学、マイクロスコープ、外科的治療法等を学ばれたそうで、現在渋谷区で根管治療を専門に開業されています。

GPを中心としたグループの先生の紹介の患者さんを治療してらっしゃるそうです。

根尖病変のある歯の再治療において、上顎第一大臼歯においては成績がとても悪いように歯牙の部

位によって成功率が違うので一括りにして考えないようにすることや、エンド治療がいまぐいなくて、抜歯してインプラント治療をすることが多かった時代からマイクロスコープ、外科的治療によってエンドの治療法が多岐に渡るようになって選択肢が増えたことを改めて教えられました。

顕微鏡は歯科でも1954年から使われていましたが、良く使われるようになったのは1990年代に入ってからです。顕微鏡も最近は動きもよくなり、明るさに加え今まで見えないものが見えるというのは根管治療においてはとても大切なことです。

倍率が高いと見える範囲は狭くなるので利用用途によって選び、操作性光源はキセノンライトの方がLEDより明るいので、やはり根管治療ではキセノンライトのが

よろしいし、焦点距離を変えられるパリオスコープは便利だそうです。

使う時は、フォーカス、倍率、明かりを調整し、さらに記録できれば、患者さんに説明もできます。歯牙の破折は患者さんにとって理解しがたいので特に有効ですし、根管がわかりにくい時に見つけるのにも役立ちます。

上顎洞炎の原因として上顎大臼歯の根尖に原因がある場合が多いです。その時は、外科処置も考えつつ根管治療をします。

2020年を超えてくると100才以上の人口が40万人にはなるように、超高齢社会になってきます。それをふまえた根管治療の重要性がとてもよくわかった時間でした。（取材・広報部 奥野圭子）



● 卒研レポート ●

TDC アカデミア 2015 臨床セミナー アライナーによる矯正治療の基礎と応用

平成27年11月8日(日)、水道橋校舎新館8階講義室ならびに10階実習室において、TDC アカデミア2015の最後を締めくくる上記セミナーが講師に渡辺和也先生をお迎えして開催された。

渡辺先生は母校を昭和61年ご卒業後直ちに同歯科矯正学講座で研鑽を積み、現在東京都武蔵野市でご開業、アライナーによる矯正治療の第一人者である。

アライナーとは透明なマウスピース型可撤性矯正装置のことで、歯牙の移動用の少ない限局矯正に対して用いられる。

この装置を用いた矯正治療の利点は、従来のブラケットやワイヤーを用いないことで、患者さんに抵抗感が少なく装置を受け入れてもらいやすいことである。また装置が透明なのでわかりやすく、確実に歯を動かすことができ、患者満足度が高い点である。

一方、抜歯を伴う空隙が大きな

症例や近遠心的な歯軸の改善など、非適応症も存在し、全ての歯列不正の症例をこの装置で治せるわけではない。

午前中は以上のような本装置の概要、基礎的事項ならびに治療の実際について、臨床の症例をご紹介されながら詳細な内容の講演が行われた。

午後は、実習室に場所を移動し、歯列拡大のためのストリッピング実習を、専用コントラに装着したIPRチップを用いて歯牙模型に対して行った。また捻転歯の改善のためアライナーに付与するディンプル形成をCAプライヤーを用いて体得した。

実習終了後、再び講義室に戻り、アライナー作成のための具体的な技工指示書の記載方法や、本装置を用いた矯正治療のアドバンス編の講演が行われた。

本セミナーを通して特に講師が強調されていた本装置使用上の注

意事項は以下の通りであった。

- ・ 1日17時間以上着用しなければ治療期間が長引く。
- ・ 食事や熱いものを飲む時は必ずはずすこと。
- ・ 就寝時には着用すること。
- ・ 軽い噛み込み運動を1日30分ぐらい行うことで歯の移動効率が上がる。
- ・ 歯に不可逆的なダメージを与えないため治療期間中は固いものは食べないように指示すること。
- ・ 日常の手入れとして歯を磨くときに一緒に優しく洗うよう指示する。
- ・ 極端な痛みなどがあった場合は直ちに連絡するよう伝えておく。
- ・ 遅滞なく治療を進めるためアポイントの日は必ず守るようにすること。

(取材・広報部 渡邊宇一)



母校だより

第47回東歯祭および後夜祭・歯学体成績報告会

去る平成27年10月24日（土）、25日（日）の両日、本学水道橋校舎新館において、第47回東歯祭－フェスティバル2015－が開催された。新館での東歯祭は今年で3回目となり、昨年同様血脇ホールにおけるコンサートを中心としたプログラムで構成された。

また25日（日）には新館において平成27年度歯学体報告会、ならびに東歯祭後夜祭が開催された。



硬式庭球部

2015年度 第47回全日本歯科学生 総合体育大会

この度、第47回全日本歯科学生総合体育大会で総合優勝をすることができました。男子は優勝、女子は準優勝という結果でした。

硬式庭球部門では、男子はダブルス2ポイント、シングルス3ポイントの計5ポイントのうち3ポイントをとったチームの勝利となります。男子トーナメントにおいて、我々のチームは優勝が決まるまでの全5試合、そのほとんどが3-0という圧倒的な強さでありました。それにも関わらず、トーナメントの間はチーム一同、圧倒的な強さから生まれる余裕に足元をすくわれることなく、1試合1試合、1球1球に集中して挑むことができました。

女子は近年、部員数が増えてきて活気づき、新入生の活躍もあり準優勝という素晴らしい結果を残すことができました。真夏の日差しが厳しい中、選手一同、サポート一同結束し、耐え、本当によく頑張ったと思います。

昨年度の全日本歯科学生総合体育大会では悔しい思いを経験しましたが、その雪辱を引きずるのではなくこのような結果に結びつけることができ、チーム一同嬉しい限りであります。

我々がここまで来ることができたのは、お忙しい中応援に駆けつけてくださったOB・OGの先生方、影ながらご支援してくださっているOB・OGの先生方のおかげであります。この場をお借りして、部員一同心より感謝申し上げます。

3年 主将 宮崎 創太

ます。

残された医科歯科リーグに向けより一層気を引き締め、尽力して参りたいとおもいますので今後とも応援の程、宜しくお願い致します。



ラグビー部

近況報告

現在、東京歯科大学ラグビー部は、部員の人数がままならないために神奈川歯科大学ラグビー部の皆様と合同チームとして活動しており、週に3回、そのうちの1回は各大学のグラウンドで合同練習を行っています。

ところが、合同チームとしても関東医歯薬リーグ出場に必要な人数に達しておらず、今シーズンもOBの先生方のお力をお借りして出場することが出来ました。

合同チームとして活動することは、お互いの大学の都合のことを考えて練習時間を決めなければならず、そして何よりも十分な回数練習を行うことが出来ないというデメリットがあります。しかし、だからこそ1回1回の集まりを大切にし、少ない時間の中でも一致団結して取り組んでいます。練習中は誰もが互いを尊敬しながらも、先輩後輩関係なしにぶつかり合い、終わった後は仲間として楽しく過ごす日々は、つらい時もありますが、充実したものばかりです。関東医歯薬リーグの成績は残念なものとなってしまいましたが、来年こそは良い結果を残せるよう不退転の覚悟で臨んでいく所存です。

また12月の下旬に行われるオールデンタル7人制ラグビー部門の出場の参加を決め、オールデンタル制覇を現在の目標としています。オールデンタルに参加することは、大会開催時期や部員の人数

不足のために、ここ何年も出来ていませんでしたが、部長の先生、顧問の先生、OB・OGの先生方をはじめとした周りの皆様の協力や後押しのおかげで実現することが出来ました。現部員の全員がオールデンタルの出場の経験がなく、わからないことばかりで不安に思う一面もありますが、それ以上に期待に胸を膨らませています。東京歯科大学の名を背負う誇りを胸に闘っていくことを誓います。

こうしてラグビーをプレイすることが出来るのはひとえにお忙しい中、惜しみのない協力をしてく

3年 副主将 安原 才門

ださる周りの皆様のおかげと存じております。少しでもこの応援に報いるためには部員を確保し、ラグビー部の伝統を守らなければなりません。9～10月にわたり行われたラグビーワールドカップの日本代表チームの歴史的勝利のため、今ラグビーへの関心が高まっております。この流れにのり、来年度にはより多くの人を仲間として迎え入れることができるよう尽力します。

今後ともラグビー部への温かいご声援を賜りますよう、またご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



第47回 東 歯 祭

実行委員長挨拶

10月24日（土）、25日（日）に開催されました第47回東歯祭は、滞りなく全日程を無事に終了することができました。東歯祭実行委員一同大きな安堵と喜びを感じております。これもひとえに井出学長先生はじめ多くの先生方、学生課の方々並びに参加部活動、研究会など関係者の皆様の御協力の賜物であり、実行委員長として心より深く感謝申し上げます。

本年度、東歯祭は血脇記念ホールにおいてMLSのライブを開催することに成功し、すべての団体が血脇記念ホールで発表することができました。次回以降も団結力強化のため全団体参加を目指していきたいと考えております。また、本年度から1年生の担当企画として、写真パネルアートを開催しました。企画のコンセプトの説明を受けただけで、あとはすべて1年生に任せましたが、とても評判がよく素晴らしい作品となりました。

昨年同様、都市型の学園祭の開催にあたっては多くの困難がありましたが、佐藤学生部長先生をはじめとする先生方の絶大な御協力のもと、ひとつひとつ解決していくことができました。今後の課題として、実行委員会では来場者数を増やすことを大きな課題に掲げています。一人でも多くの在校生が学園祭に参加したくなるような企画を打ち出すとともに、OB、OGの皆様方にも楽しんでいただけるような学園祭にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、私たち実行委員会では一人でも多くの在校生が積極的に参加したくなる様な学園祭にしていきたいと考えております。同窓生及び関係者の皆様には今後ともお力添えを賜りますようお願いするとともに、私たち実行委員会もより一層魅力的な学園祭創りに励んで参りたいと思います。

第47回東歯祭実行委員長 齋藤周崇



遠くから見ると「TDC」の文字が浮かび上がってくる写真アート（白黒なのが残念です）



MLS のコンサート



bigband のオーケストラ



MLS のコンサート



ダンス部のカッコいいパフォーマンス



bigband 全員集合



管弦楽団の美しい音色



GO GO ダンス部



演劇部の公演



水泳部



ポスター展



実行委員会の仲間と



受付嬢で〜す。



復活！ラグビー部



硬式テニス部 デンタル優勝！

今年も、東歯祭の取材に行ってきました。圧巻だったのは、新館校舎入り口正面に飾られた「写真パネルアート」この会報では、白黒でしか掲載できなかったのが残念ですが、遠くからみると「TDC」の文字がくっきりと浮び上がってとても素晴らしかったです。

毎日の勉強に実習にクラブ活動に忙しい中、沢山の学生さん達が協力し合いながら、一つのイベントを創り上げる…きっと、大変なことも多かったと思いますが、皆で共有する大切な時間と達成感は素晴らしいものです。将来、きっと皆さんの大きな力に、そして、歯科界の未来に続く大きな力になることでしょう。ご苦労様でした。

VIVA 東京歯科大学！

(広報部 佐々木葉子)

北海道地域支部連合会

創立100周年

我が連合会は、大正4(1915)年、北海道同窓会として発足してから100年を迎え、その記念事業が平成27年10月10・11日の両日、札幌プリンスホテルにて開催された。

10日15時より記念講演会。講師は日本歯科医師会前会長大久保満男先生。テーマは「高齢社会における歯科医療のあり方ー歯科医療の責務とはー」。会長在任中、激変する医療政策の中で、何を大切にして奮闘してきたかが語られた。17時より記念式典。校歌斉唱に続き、佐藤英俊連合会長より「先人たちの築いた歴史に連なって今日を迎えられたことは喜ばしい。今後の同窓会を考える有意義なイベントとしたい」との挨拶があった。続いて、来賓の藤田一雄北海道歯科医師会長、矢崎秀昭東歯同窓会長、水野嘉夫東歯大理事長、矢島安朝水道橋病院長より、

それぞれ御祝辞をいただいた。

船本能教100周年実行委員長は挨拶の中で「百年の節」というメインテーマについて説明した。続いて、坂田道昭小樽支部長より「連合同窓会の成り立ち」と題して、会創立当時(明治・大正)の様子が報告された(創立以降については、祝賀会の中で、志村俊一先生製作のスライドショーが公開された)。祝電披露の後、感謝状の贈呈が、喜田正史(第9代)、橋本 尚(第10代)、山田洋文(第11代)、針谷 毅(第13代)の歴代会長に対して行われた(第12代の藤森敏昭先生には、現職の監事という事情で、祝賀会の中で同窓会貢献賞が贈られた)。卒寿喜田先生による謝辞とほのぼのとした思い出話で時間一杯となり、和やかに閉会となった。

記念写真撮影を挟んで、19時より祝賀会。大久保日歯前会長は祝辞の中で、自身の祖父が血脇門下

生であり、自分にも血脇イズムが少しだけ流れていると告白された。鏡開き、そして橋本 尚連合会顧問の発声で乾杯。フルート三重奏の生演奏の中、多くの会員が立って酒を注いで回り、談笑の輪ができ、会場は華やかなワルツの舞台のようであった。

翌11日。朝9時より支部長会。10時より連合会総会が行われた。議案はすべて承認された。11時より、100周年記念フォーラム「連合会の明日を考える」が開催された。会員の減少と高齢化に伴う諸問題について、真剣かつ活発な議論が行われ、最後に矢崎会長のまとめのコメントをいただいて、記念事業のすべての日程を無事終了した。

なお、100周年記念誌「百年の節」は、来春発刊の予定である。

(島田清純 記)



関東地域支部連合会

平成27年度総会

平成27年9月6日（日）に栃木県宇都宮市にあります宇都宮グランドホテルにて「平成27年度東京歯科大学同窓会関東地域支部連合会総会・記念講演会」が行われました。今年度は栃木県支部が当番県のもと、7支部より総勢82名のご参加をいただきました。総会に先立ち同ホテル別室にて同連合会支部長懇談会が開催されました。

総会は湯澤邦裕常任幹事の司会にて、築瀬 真副支部長による開会の辞にて開会となりました。関東地域支部連合会会長の菊池善郎より挨拶があり、続いて物故会員への黙祷をささげました。ご来賓を代表して矢崎秀昭東京歯科大学同窓会会長、井出吉信東京歯科大学学長よりご祝辞を賜りました。矢崎秀昭同窓会会長より「東京歯科大学同窓会120周年記念事業」についてのお願いも含めご挨拶い

ただきました。来賓紹介の後議長・副議長選出にて議事に入りました。まず報告から、本部報告として東京歯科大学同窓会本部の高橋義一専務理事より、大学報告として井出吉信学長よりご報告をいただきました。同窓会、大学とも水道橋移転後も順調な運営、教育等進んでいる旨のご報告をいただき、更なる発展の為の支援のお願いをいただきました。井出学長からは、単に国家試験の合格率だけにとらわれず超高齢化社会など社会の状況に対応できる歯科医師の育成に努めているとのお話があり印象的でした。連合会会務報告、支部長懇談会の報告に続いて議事に移りました。前年度事業決算、今年度事業計画及び予算案の審議が全会一致で可決承認されました。次期当番県のご挨拶を引田正俊群馬県同窓会会長よりいただき、黒田裕之副支部長の閉会の辞

にて無事閉会となりました。

総会終了後記念講演・懇親会が会場を変えて行われました。今回の講演会は「栃木の酒を世界へ」と題しまして、今世界から注目をされております「日本酒」についてご講演いただき、引き続き懇親会のお食事に合わせて栃木のお酒を味わっていただく企画としました。講演会に先立ち矢崎秀昭同窓会会長、井出吉信学長よりご挨拶を、そして講演会に駆けつけていただきました栃木県歯科医師会会長であり、今年度より日本歯科医師会副会長であります柴田 勝先生よりご祝辞をいただきました。その後栃木県を代表します造り酒屋「惣誉酒造株式会社」代表取締役社長の河野 遵さまにご講演いただきました。日本酒の現状としての厳しさ、それを打開するための取り組みについて、味に対しての流行や伝統、酵母製法の一つである「生酛^{きもと}」へのこだわりなどお話いただきました。河野社長の日本酒造りに取り組む姿勢などは、我々歯科医師にとっても非常に勉強になるお話でした。ご講演の後、落合雅雄栃木県顧問から乾杯のご発声をいただき開宴となりました。お料理とご講演の内容に合わせて出された4種のお酒を美味しくいただきました。最後に栃木支部名物「平成ゴスペロール隊」先導による校歌斉唱。矢島俊助栃木県副支部長による閉会の辞にてすべてのプログラム終了となりました。（柏瀬昌史 記）



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

信越地域支部連合会

平成27年度東京歯科大学同窓会の信越地域支部連合会総会と長野県連合会総会が10月17日(土)に東信支部主管により千曲市のホテル清風園にて共催され、約40名の会員が参加した。来賓は同窓会本部より浮地文夫副会長、小池 修広報部担当常任理事、地元歯科医師会からは上田小県歯科医師会会長 関 勇治先生をお招きし、講師は本校卒業で現在は日本大学歯学部口腔外科教授の外木守雄先生にご講演いただいた。通例は午後から総会、講演会を行い、その後に懇親会を行うのだが、当日は社保集団講習会が開催されたため、夜の懇親会のみとし、総会、講演会は翌18日(日)午前に行なわれた。早速ゆっくり風呂に入ってから記念写真撮影を行い、懇親会は全員浴衣掛けでくつろいだ姿で行われた。

阿部高夫信越地域支部連合会長の挨拶の後來賓の浮地副会長の乾杯の音頭で懇親会は始まり、宴会の間小池理事より「野口英世は死なず」のDVDが披露された。これは今年新潟テレビで放送されたものだが野口英世と恩師血脇守之助、友人石塚三郎、3先生の人間関係が描かれていた。人間野口英世が克明に描かれたものとなっており、興味深く観賞した。

翌日は阿部連合会長の挨拶の後、朝9:00から長野県連合会総会、更に信越地域支部連合会総会が開かれ、会務報告、会計報告が承認された。同窓会副会長の浮地先生からは120周年記念祝賀会が定員に達した事、オンデマンド動



画配信が開始されることなどが紹介された。その後「ストップ・ザ・イビキ」と題し、日本大学口腔外科教授の外木守雄先生の講演会となった。閉塞時睡眠時無呼吸障害に対する治療法としてN-CPAP、口腔内装置、外科療法などを上げられ、それぞれの特徴を述べられた。最後に新潟県支部長阿部晴弘先生より来年度は岩室温泉にて開催予定である事が紹介され、盛会の内に閉会となった。

(青木篤敬 記)



東海地域支部連合会

平成27年度総会

9月6日（日）名古屋市の名鉄グランドホテルで、東海地域支部連合会総会が行われました。

来賓として、副学長 一戸達也先生、同窓会副会長 宮地建夫先生、同窓会常任理事 佐々木眞澄先生、地区理事 山田 有先生をお招きして、静岡県支部、愛知県支部、岐阜県支部、三重県支部合わせて63名が出席して開催されました。

総会に先立って、午前11時より本年度第3回連絡協議会が開かれ、同窓会常任理事 佐々木眞澄先生より本部報告をしていただきました。その後、今年1月と6月に行われた2度の連絡協議会において、熱く議論された「総会開催間隔と、当番県事務負担の軽減」についての協議結果の報告がありました。

午後1時30分より総会が開催され、一戸達也副学長より大学の現状・近況報告、宮地建夫同窓会副会長より大学の近況報告の他、同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会のお話、西棟建設支援などのお話がありました。

特に、私達の世代では考えられない、在校生がまじめに授業を受ける様子（1年生などほとんどの学生が無遅刻・無欠席であるということです）のお話に驚き、東京歯科大学が国家試験合格率トップを維持し続けるための取り組みのお話、関東大震災後新しく校舎を建てるために血闘守之助先生が全国行脚されたお話など、強く心に



残りました。そして西棟建設について、より多くの同窓が協力してぜひ成功させなければいけないと強く感じました。

その後記念講演があり、三重県が主催ということで、伊勢神宮・権禰宜 橋本敏輝様より「伊勢の遷宮」というタイトルでご講演いただきました。伊勢神宮が125の宮社の集合体であること、なぜ20年に一度全部建物を壊して遷宮するのかというと①使用木材の耐用年数、②宮大工の技術伝承にちょうど程良い間隔であること、③ある暦を用いると約20年で一回りすること、など三重県の住民である私も知らなかったことを非常に興味深く聞かせていただきました。



た。

懇親会では三重県歯科医師会会長・田所 泰先生に温かいお言葉をいただき、同窓会本部東海地区理事の山田 有先生がご挨拶されました。そして三重県出席者最年長の武藤章美先生の乾杯のご発声により宴が始まり、来賓、各県の同窓が時間も忘れ、楽しく入り混じって話に花を咲かせ、最後の校歌斉唱で最高潮に達しました。

いろいろと手違いもありご迷惑をおかけしたこともあります。皆様のご協力により無事に終えることができましたことを、紙面をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。（宮崎弘隆 記）



北陸地域支部連合会

平成27年10月3日(土)ユアーズホテルフクイにて北陸地域支部連合会学術講演会・総会が開催されました。来賓として矢崎秀昭同窓会会長、佐々木真澄常任理事、母校より井出吉信学長、特別講演は福井県出身のオーラルメディシン・口腔外科学講座助教の齊藤朋愛先生をお迎えし、北陸3県から31名の同窓が参加されました。

はじめに、母校オーラルメディシン・口腔外科学講座助教の齊藤朋愛先生より「超高齢化社会におけるオーラルメディシンの役割、口腔がん患者への対応」と題した講演がおこなわれました。高齢化に伴う歯科医療における様々な問題点を挙げ、医科医療機関や地域包括支援センター等との連携を含めた地域完結型医療の中での歯科医療提供体制の構築が重要であり、さらに口腔がん罹患率は年々増加傾向にあることから、千葉県市川市における口腔がん早期発見システムの取り組みを具体的に紹介していただきました。超高齢化



社会において、オーラルメディシンの知識を持つことは重要であり、他職種との緊密な連携が今後ますます求められることをわかりやすくご講演していただきました。

総会は物故者への黙祷、開催県支部長である伊藤 透福井県支部長の挨拶の後、矢崎秀昭同窓会会長の来賓挨拶、井出吉信学長より来賓挨拶と大学の現況報告がおこなわれました。続いて佐々木真澄常任理事より、同窓会報告と同窓会創立120周年記念事業の紹介協力依頼、母校西棟建設のための寄付、同窓国会議員後援会への協力をお願いがありました。その後会計報告が承認され、次期開催県の野田 修富山県副支部長より挨拶をいただきまして閉会となりました。



た。続く懇親会は前田 昇前福井県支部長の挨拶、加藤成俊石川県支部長の乾杯の音頭で始められました。ご来賓として齊藤愛夫福井県歯科医師会会長が加わり、アトラクションとして昨年9月に中部ウェルター級王者に輝いた山口智明先生のボクシングの試合映像の上映や福井の美しい芸妓さん達の舞が披露され和やかに宴は進行しました。最後に校歌斉唱、最年長の山口一郎先生の先導により万歳三唱を行い、野田 修富山県副支部長の挨拶をもって名残惜しくも閉会となりました。参加していただきました先生方に厚く御礼を申し上げます。再来年富山での開催を楽しみにしております。

(伊藤理恵子 記)



横浜西部支部

平成27年秋の一泊総会

平成27年10月28日から29日にかけて、熱海温泉大月ホテル和風別館にて秋の一泊総会が行われた。当番区は戸塚区で、16人の出席があった。

総会は、中島清司君の開会の辞によって始められた。その後、佐藤信之支部長より支部長挨拶がなされた。その後、会員現況報告・会務報告が辻村育郎君から、会計現況報告が水口浩司君からなされた。さらに、本部同窓会報告・連合同窓会報告が杉山紀子連合同窓会会長から、会長指名委員会報告が島田英明君からなされた。途中、島村 大衆議院議員からの電報が読み上げられた。協議事項として、次期会長として辻村育郎君が推薦され満場一致でお願いすることになった。また、今後

の一泊総会の在り方については次期執行部に判断をゆだねることになった。最後に辻村育郎君の閉会の辞で総会を終えた。

総会の後は、島田英明君の乾杯

の発声により宴会が開かれた。終始和やかな雰囲気、宴もたけなわではあったが、全員で記念写真を撮影し終了した。

(渡瀬秀彦 記)



横浜鶴見支部

鶴見東歯会 「平 光雄先生の白寿をお祝いする会」開催

11月15日（日）午後1時より、鶴見駅西口「磯寿司」において、「平 光雄先生の白寿をお祝いする会」が7名参加のもと開催された。

沖縄ご出身の平先生（昭和15年卒）は、大正5年生まれの99歳。沖縄古典音楽「湛水流」の伝承と発展に寄与され、沖縄県民功労者でもある当支部自慢の大先輩。

（詳しくは同窓会会報第391号「会員往来」をご参照ください。同窓会ホームページからでもご覧になれます）

はじめに、佐藤秀夫会長（昭和48年卒）が「平先生には今後、名誉会長として、いつまでもお元気で我々後輩にご指導いただきたい」と挨拶した。

続いて乾杯へと移り、宇佐美雅弘先生（昭和31年卒）が先生の益々の健勝を祈念し、声高らかに祝杯を上げた。

次いで平先生に記念品が贈呈され、世界にひとつだけ「平 光雄先生 祝白寿 鶴見東歯会一同」と記されたラベルが貼られた健康ジュースと、先生の誕生日の新聞も添えられた。先生は嬉しそうに99年前の新聞記事にじっくり目を通されていた。

平先生から「よく長生きの秘訣は何ですかと聞かれるが、不平不満を言わずいつもニコニコありがとうの気持ちを忘れず、良いことも悪いことも“神様の言う通り”とにかく人生を楽しむことです。

来年の鶴見歯科医師会創立100周年記念祝賀会では100歳の乾杯を任されました。来年のことを言うに鬼に笑われますが、健康に留意してまずは100歳を目標に頑張ります」を張りのある大きな声で謝辞が述べられ、大きな拍手が送られた。

ここで祝いメッセージが披露された。神奈川県支部連合同窓会の杉山紀子会長と鶴見歯科医師会の岩木一晃会長から届いた心温まる祝いメッセージが披露され、先生は目を細めて耳を傾けておられた。

その後、先生から出席者全員に各自違った内容の書をしたためた直筆の色紙を頂いた。「お礼の気持ち。私の趣味のひとつです。」と笑いながら手渡された色紙はどれも墨痕鮮やか、しなやかで流れるような美しい字に目を丸くして一同感嘆！ご出席の森田正純先生（昭和50年卒）は「私は平先生の書に魅せられ、5年程前から毛筆



を始めました。最初から最後まで丁寧に書き上げることは並大抵のことではありません。素晴らしい」と拍手喝さい。

また、先生は食欲も旺盛で、お寿司をつまみながら、嬉しそうな笑顔で出席者らと楽しく歓談が続いた。

宴もたけなわであったが、ちょうど祝い会当日が57歳の誕生日の吉田礎久先生（昭和58年卒）に主役の平先生から花束が贈られ満面の笑みで「平先生は鶴見東歯会の誇りです。いつまでもお元気で」と閉会の辞を述べ、大きな拍手を以ってお開きとなった。

（宇佐美貴弘（平成9年卒）記）

写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。



新潟県支部

平成27年度総会

去る7月4日（土）、月岡温泉『割烹の宿いま井』に於いて今年度の新潟県支部総会が開催されました。37名の参加があり、ご来賓として井出吉信学長、財部正治同窓会副会長、上田貴之老年歯科補綴学講座准教授にお越しいただきました。

大学、同窓会の報告があり、来年の信越地域支部連合会総会中は越後地区での開催が承認され閉会いたしました。

引き続き、東歯同窓会120周年記念特別講演会として『新潟県歯科医師会草創期と天長節事件』の演題で広瀬 秀新潟県支部副会長が講演されました。明治時代は非歯科医師による歯科医師法違反事件が全国的に多発していました。天長節事件は小千谷町で開業している先生が、非歯科医保護ならびに歯科医師法違反幫助をおこなっ



阿部新潟県支部長の挨拶



支部総会の様子

ている証拠を得たので、11月3日（天長節）に新潟県歯科医師会臨時総会を開催して糾弾しようとしたものです。明治期歯科医業界の懸案事項のひとつである、歯科医師（医術開業歯科試験を合格したもの）と従来家+非歯科医師（従来家として鑑札を授与されて医業をおこなっていたもの）の対立を克明に解説していただきました。

その後、老年歯科補綴学講座准教授上田貴之先生の記念学術講演会『有床義歯の印象採得を再考しよう』では、上田先生の印象法やチキソトロピー性を付与した印象

剤を使用した印象のテクニックなどについてお話いただきました。

記念撮影の後、常木哲哉先生の司会、佐藤泰彦先生の地元歓迎の挨拶、安達和夫先生の乾杯の発声で懇親会が始まりました。常木先生は今年の5月に新潟のUXテレビで放映された『野口英世は死なず』という再現ドラマで野口英世を好演されて、ドラマの撮影秘話などでひっぱりだこになっていました。毎年恒例の八百枝正樹先生の指揮で校歌斉唱し万歳三唱で名残惜しいなか終宴となりました。

（加茂芳江 記）



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

愛知県支部

参議院議員島村 大先生 時局講演会

6月14日(日)10時より、「アイリス愛知」にて参議院議員島村大先生をお招きし、同窓会員の他にも愛知県歯科医師連盟より渡邊正臣会長以下多くの役員の先生方にも出席頂き、時局講演会が開催された。島村大先生は東京歯科大学昭和60年卒で、平成25年7月の参議院議員通常選挙にて神奈川県参議院選挙区で自民党から出馬し初当選され、現在、厚生労働委員会等で活躍されている。これまでも東京歯科大学は多くの議員を国政の場に送り、歯科界の発展の為に大きく寄与してきたが、現在、国会では安全保障、年金基金の漏洩の問題で揺れて大変忙しい中、政権与党の議員として活躍されている島村大先生をお招きし、国政のホットな現状をお話し頂いた。

会は山口堅三常任理事の司会の

元、中川重樹副会長の開会の辞に続き、成瀬健会長の挨拶の後、愛知県歯・連盟会長である渡邊正臣先生が来賓挨拶の中で、「ここ3年が医療界にとって一番正念場である。介護報酬が-2.7%の改定であったので次期診療報酬改定がどうなるか心配されるが、特に平成30年は医療界にとって大改革が行なわれる。医療費抑制の中で予坊、保健へと向かっていくと思うが、島村先生には今後、歯科界はどのようにしたら良いのか示唆して頂けたらと思う」と述べられた。

続いて島村先生の講演に移り、国会議員になった経緯、今国会の状況、平和安全法、国民年金機構の情報流出問題等の話に続き、医療制度について、「団塊の世代が全員後期高齢者となる2025年問題を控える中、医療・介護・年金がどうなるか、それに向けて社会保障と税の一体改革の抜本的改革が



進められている。財源の問題はあるが、本当に問題なのは厚労省の対応ではなく、我々歯科界の対応にある。診療報酬改定ではこれ以上我々が満足する点数にはならないと思う。診療報酬以外にも基金として医療904億円、介護724億円が創設されたが、これをどのように利用するかという前に、歯科界全体で何をやりたいのかを議員、国民に訴える事が大切である。歯科医師会が自分たちの要求を単に訴えるのではなく、歯科界としてやりたい事を日歯、連盟、日学歯、学会が一体となってグランドデザインを描き、エビデンスと共に発信する事が大切である。そうすれば自然と国民、企業の方から国に対してこのような歯科医療をして欲しいとの要望が出てくるのではないかと熱く語られ、久しぶりに東京歯科大学同窓の国会議員の素晴らしい話を聞くことができた。

最後に質疑応答が行なわれ、会は夫馬眞也監事の閉会の辞にて終了した。(長谷部雅志 記)



阿部二郎先生学術講演会

7月12日(日)14時より、愛知

県歯科医師会館にて平成27年度東京歯科大学愛知県同窓会学術講演

会が開催された。我が国では平均寿命の延伸、人口の高齢化に伴

い、顎堤吸収が著しい等の難症例の総義歯患者さんが増加しており、私共の日常の歯科診療に於いても、対応が必要となってきた。特に口を開くたびに浮き上がってくる下顎総義歯を診るほどのストレスはない。そこで今回、愛知県同窓会では総義歯の講演会を多く手がけ、下顎総義歯吸着理論で有名であり、若手の先生方からもリクエストが多かった東京都調布市で開業している阿部二郎先生をお招きし、「無歯顎補綴の現在から未来～吸着義歯、インプラントオーバーデンチャー、そしてCAD/CAM デンチャーの未来～」をテーマとして学術講演会を開催した。

講師の阿部二郎先生は、昭和56年東京歯科大学卒業で筆者と同級生であるが、大学卒業後、大学院、医局に残らず、義歯の作成、研究では有名な矢崎歯科医院に勤務し1982年阿部歯科医院を開設、独学で研究し、「下顎総義歯吸着理論」を導き出し、講演会、セミナー等で活動してきた先生である。本日も通常のスライドだけで

はなく、動画、アニメーションをふんだんに使いとても分かり易い講演会であった。

【講演要旨】

1960年代に Boucher CO がアクリリックレジン製の個人トレーとスティックコンパウンドを用いた印象採得法を報告して以来、1980年には義歯材料の進歩も相まって上顎義歯を顎堤に吸着させる方法が確立した。一方、下顎全部床義歯においては、ティッシュコンディショナーを用いて耐圧面積を拡大する方法やニュートラルゾーンを用いた人工歯配列などが紹介されたが、下顎義歯の開口時の浮き上がりの問題は解決できなかった。その為、独自で研究を重ねたが、大切なのは筋運動ではなく、口腔粘膜で義歯床縁全周を封鎖することに気がついた。印象時に4箇所ぐらい難しいところがあるが、誰でも同じように封鎖する印象が採れる事を目標に講演会等を開催してきた。

下顎義歯の開口時の浮き上がり問題に関して、2000年代になるとインプラントオーバーデン

チャーの報告が増加し、下顎全部床義歯の治療効果が期待できるインプラントオーバーデンチャーが世界で注目を集めはじめた。しかし、インプラントで義歯は安定するが、全部床義歯では顎関節部の器質的変形の改善が期待できないばかりでなく、顎堤吸収もくい止めることができないのが現実である。さらに海外では、CAD/CAM による全部床義歯製作が始まった。元は歯科技工士の不足、労働時間の改善のために始まったが、この製作方法によって、義歯の不適合の第一原因である石膏膨張とレジン重合収縮がキャンセルされることになり、これまで以上に適合の良い義歯が提供される時代が訪れようとしている。

最後に恒例となっている懇親会が「アパホテル名古屋錦」の会場に移し行われた。和やかな雰囲気の中、講演会で聞けなかった様々な情報を聞く事ができ、有意義な懇親会となった。

(長谷部雅志 記)



クラス会だより

いづみ会

昭和23年卒

年を取ると正に光陰矢の如く1年は過ぎてゆきクラス総会の時期となりました。今年の総会場は横山大観画伯ゆかりの熱海大観荘で純和風数寄屋造りの老舗旅館です。

さて第65回いづみ会総会は昨秋平成26年11月20日(木)あたま石亭で現地集合しました。宿に着くと生憎の雨の中を傘を片手で支え飛石伝いに案内されたのが築53年の古びた戸建ての離れ家でした。先ずは溢れる出湯に浸り身心を癒し一息入れましたが、その後再び雨中足下の悪い所を別棟に移り午後5時30分より総会、引続き懇親会は6時より青森は弘前市から遠来の珍客吉岡隆一君の乾杯の音頭で開宴、霜月の会席料理の数々を肴に杯を傾けながら歓談いたし久闊を叙しました。ところで石亭は温泉街から外れた西部山手の高台に位置し、1個が数百万いや数千万円を越す名石をいたる所に配した石庭が美しい泉都屈指の最高級の

宿と言われていますが、われわれ高齢者にとっては全く不向きで、自慢の伊予の水石や本鞍馬石等々があっても足下が気になり鑑賞しているゆとりなどありません。まるで石だらけの庭としか見えず、案の定某君は石畳で足を取られ掠り傷を負いました。今回は期待外れの宿を選択しご参会の皆様にはご迷惑を掛け申し訳なくお詫びいたします。

翌日は晴天に恵まれタクシーに分乗して海岸線をドライブ上多賀に向いました。ここは今を去る70年前昭和20年の戦時下学校疎開で蕪山中学校(現高校)に分校を開設した折に第2学年2組(第2小隊)の分宿所大喜旅館のあった所です。伊東線伊豆多賀駅は遥か高台にあり熱海、三島経由駿豆鉄道(現伊豆箱根鉄道)で空腹に耐えながら通学した道程や列車が米軍艦載機の空襲に遭い丹那トンネル内に退避して死の恐怖を体験した

事など当時の苦難を想起させられました。昼食は古民家をリフォームした蕎麦処多賀でお銚子を1本付けながらゆっくり摂り、再びタクシーで熱海駅に戻り解散いたしました。

参加者は、岸田 昭、杉山浩一、林 和男夫妻他1名、平野 博、三宅直晴、横田昭三夫妻、吉岡隆一夫妻の諸兄姉と中久喜 喬夫妻です。

林 和男君 昨年末発行の同窓会会員名簿平成26年度版に編集ミスで住所不明と記載されていますが住所は従来通り「701-0205 岡山県岡山市南区妹尾1446-1 TEL・FAX 086-282-0541」にお住まいで、毎年いづみ会総会には翠夫人同伴で出席されている常連です。なお診療所は令息好一君(昭和55年卒)が後継しています。

(中久喜 喬 記)



いとし会

昭和24年卒

平成27年9月24日、大学の一室をお借りし、旧幹事数名お集り頂き、今後の運営について協議しま

した。今年は同窓会120周年の行事、又幹事体調不良もあり中止し、来年を期する事に成りまし

た。予定されていた級友の方々には心よりお詫び致します。

(幹事・斎藤 久 記)

志学會

昭和42年卒

今年の総会は黒4ダムのある、富山、宇奈月温泉にてだ。

会員27名、夫人11名の参加があった。旅荘延楽に到着まず温泉に入ってみる。クセのない単純泉だがなんといっても熱い！42～3度あるがじっとこらえる。湯量は豊富でシャワーも痛い。

さっぱりして5：30の総会に臨む。進行は羽生君、大岡会長挨拶、担当柚木君の歓迎挨拶があり、本年度逝去の羽田野君、熊谷君両君の冥福を祈る。

会務、会計報告のあと大学現況として120周年記念式典について式典会長高橋(利)君が説明した。

来年の総会が北海道に決まり担当の西川君が季節の良い7月に総会を設定した。

閉会後は全員記念撮影、夫人方も加わり鈴木君の5,060万画素のカメラにおさまった。

宴会が柚木君の挨拶で始まり、かに、白海老、甘鯛、銀鯔の西京焼きと海産物

が多く、越中みそ汁にコシヒカリ、そして和牛きのこと鍋に火が入ると大広間も熱気いっぱいだった。あっという間の2時間が過ぎお開きあとは恒例のカラオケへと流れた。

翌2日目は31名参加の観光でトロッコ列車、杉沢の沢杉が目玉だ。宇奈月温泉駅から1時間トロッコ列車でけやき平を目指す。



もともと作業用列車なので曲がりくねったトンネルを車輪を軋ませながらくぐる。富山出身の女優室井 滋さんの音声ガイドが観光客を飽きさせない。

眼下は黒部川、切り立った絶壁、日本一のV字峡谷だ。

山の上の方がやや赤く紅葉にはちと早かった。終点けやき平でそれぞれ散策、この先が石原裕次郎、



三船敏郎などが活躍した？黒4ダムだが時間なく今日はここまで…

そもそも黒4ダム建設の為にトロッコ列車と思いがちだが黒1黒2黒3ダムもあり大正年間から列車が走っていたことに驚く。

帰りに出会うトロッコ列車も満杯、3～4,000人の観光客が訪れるそうだ。

いったん延滞に戻り昼食、このあと沢杉に向かうが10名程が帰京21名が天然記念物沢杉へ、山にある筈の杉林が川もない海辺の平地に繁茂しているのは世界的にみてもここだけらしい。天然記念物たる所以である。黒部川の急流が海にまで又海中にまでその種子を運んだ結果とのこと。海中の杉林は

埋没林とよばれている。消滅前に必見の風景である。

今年は北陸新幹線の時刻の都合で観光途中下車が多くさみだれ解散となったがまた元気な再会を期した。

それにしても温泉熱かったなあ！
(赤穂英生 記)

ひ と は 会

昭和45年卒

秋晴れの10月25日、「ひとは会」23人が宇都宮駅に集合し、古稀を祝う会に参加しました。思えば大きな志を抱いて大学の門を出てから早45年が過ぎ、それぞれの分野で思いを遂げてきたのです。

ほぼ2年おきにクラス会があるので、常連組は昨日会った友達のような感覚であいさつを交わし、卒業以来初めてという人には戸惑いを覚えたりしながらも、すぐに

学生時代にもどりと和気あいあいとして話が弾みます。

バスに乗って宇都宮市街の説明を聞いているうちに昼食会場につき、美味しい中華料理に名物の餃子もいただきました。

最初の訪問地は「東武ワールドスクウェア」で、世界の著名建築物を25分の1に縮尺した模型を楽しく見ているうちに、あっという間に世界1周を果たしました。

夜は「日光鬼怒川温泉ホテル」で総会を行い、クラス会の今後を検討。写真撮影の後、宴会に興じました。一人一人の近況報告は大変興味深く、さながら人生の縮尺模型を見せて頂いた感。仕事の合間の野菜作りが高じて耕運機まで買った人、次世代に診療室を譲り悠々自適の人、人間ドックで命拾いした人、健康に自信があり来年のためにスキーを買い替えた人、



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。

息子さんたちと協調しながら現役で頑張っている人、後継者がいないので自身の健康管理を行いながら最新の知識を吸収し続けている人、等々。

翌朝はいよいよ日光に向けて出発。車窓から紅葉し始めた栃木の美しい山並みを愛でた後、東照宮では普段入れない社の奥まで通していただきました。將軍着座の間には格天井にも葵の御紋があっ

て、格調高く、強いパワーを実感。厳かなお祓いの後、別室でのおもてなしがあり感激もひとしおでした。

昼食は佐竹さんのご親戚のレストランで歓待していただき、時間を忘れるほどに皆で名残を惜しかったです。

この後、2泊組は塩原温泉・千本松牧場に向かい、1泊組は宇都宮駅から、懐かしい語らいと素敵

な体験を胸に、帰途につきました。幹事さんたちに感謝しながら…。

幹事様（敬称略）

高橋二郎・馬橋亟男・馬橋世津子・井原信一・鈴木民夫・福澤宏文

「日光の 御座所に集い

ともどちと 祓い受けいて
古稀ことほぎぬ」

（山本美智子 記）



シチャ会

昭和48年卒

5月29日北陸新幹線の開通となった富山県宇奈月温泉延楽において、78期生「シチャ会」のクラス会を行った。北海道から九州までの56名が参加し旧交を温めあった。そのうちの32名が参加した黒部峡谷トロッコ列車の旅では、今年の大雪で開通が前々日というギリギリだったこともあり、樺平から先の遊歩道はまだ道路整備が完全ではなかったが、深いV字谷と新緑にしばし下界の喧騒を忘れた。また同時進行のゴルフ大会は10名で呉羽カントリーで行われた。優勝は西宮君、ベスグロは前田(康)君。

夕方からの総会は松久保会長の挨拶で始まり、根岸君の司会で亡

き友を偲んでから、トロッコに遅刻した原岡君の弁解と乾杯音頭で宴は始まった。ゴルフの表彰や学会から急ぎ駆けつけた高橋(義)君の母校の現況報告のほか、予定外で歴代世話人へと、輪島塗のプレゼントもあった。天然の生け簀といわれる富山湾の魚や地酒の助けを得て、40年を経て変わったそれぞれの容貌も、昔の記憶で互いに補正しあいながら、市川・水道橋時代の青春話は尽きなかった。最後を締めたのは萩原君指揮の校歌斉唱、なつかしき歌声は溪谷の清流と温泉の湯気に溶けていった。二次会のカラオケ大会の後、各部屋に移ってどれだけあっても足りない時間だったが、さすが昔日

のように夜を徹してという訳にはいかない。

翌日早朝は雨で、41名が参加した室堂バスツアーも、途中までは霧の中を進んだ。だが全国から集まった晴男・晴女のパワーは、弥陀ヶ原あたりから雲を切り払い、立山や剣岳など各連山も惜しげもなくその偉容をさらしてくれた。雪の大谷は最盛期からは減っていたがそれでも十メートル以上、雪のない国からのお客様に喜んでもらうには十分だった。ここでは壁面に「シチャ会」と大書しても誰にも叱られない。深碧のミクリガ池もまだ大部分は氷の下だったが、池を一周した健脚組はやさしい雷鳥の歓迎を受けた。

翌日に金沢へと足を伸ばす人た 認しあい、次回の再会を約して名
ちもいて、まだまだ元気な事を確 残つきぬままの散会となった。

(宮本宣良 記)



訂正とお詫び

会報「401号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

p48 東京歯科大学同窓会創立120周年記念特集

表

誤：榎本精一

正：榎本積一

p64 会務

右上写真・中段下から11行目

誤：古谷

正：古屋

OB 会・グループ・サークルだより

「MLS OB 会ライブ，野村武史先生，福田謙一先生， 坂 英樹先生，教授就任記念パーティー」開催される

去る，平成27年9月12日土曜日，赤坂ライブハウスクローフィッシュにて，東京歯科大学MLS OB 会が開催された。また野村武史先生（平成7年卒）が東京歯科大学オーラルメディシン・口腔外科学教授に，福田謙一先生（平成2年卒）が東京歯科大学口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室教授に，坂 英樹先生（平成2年卒）が明海大学歯科法医学教授に，関根秀志先生（昭和62年卒）が奥羽大学歯学部歯科補綴学教授に，それぞれ就任された。残念ながら関根先生は県内で講演会があり，参加できないとのこと。野村武史先生，福田謙一先生，坂英樹先生の3教授の就任記念パーティーも同時に開催された。

初代キャプテン石岡豪一先生の乾杯のご挨拶の後，「しばしご歓談を」の間もなく演奏が始まり，前半13曲。3教授のご紹介，就任挨拶，記念品贈呈をはさみ，後半7曲，6時半から始まったライブは10時までずーっと誰かが何かを演奏している形で終了した。3教授も学生の頃を思い出され，野村武史先生が「雨あがりの夜空に」を歌われ（写真1），福田謙一先生が「crossroad」のドラムをたたかれ（写真2），坂 英樹先生が「大阪で生まれた女」を歌われた（写真3）。ライブハウスのオーナーより「バンド的にレベル高い



写真1



写真2

けど，どういう関係の集まり？」と聞かれ，「歯科大学の軽音楽部のOBです。」と答えたら，「じゃあみなさん歯医者？」とびっくりされたのが印象的であった。

残念ながら当日ご参加できなかったOB，OGの方々に，当日の模様をご紹介したく，youtubeに静止画と音声のみアップした。ご覧ください。

3年後また開催されますのでその時はぜひご参加お待ちしております。



写真3

当日演奏された曲目，参加者氏名ならびに写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。

（昭和60年卒 宇梶常幸 記）



平成27年度 精到会総会・講演会・懇親会

平成27年9月5日（土）16時より、ホテルメトロポリタンエドモント（東京/飯田橋）2F 波光にて平成27年度精到会総会・講演会が、18時より懇親会が同2F 万里にて行われた。

精到会総会は、榎本洋史精到会会長挨拶により開会した。

総会の中では、平成27年4月より2講座制となった口腔外科の新しい二講座体制について口腔顎顔面外科学講座主任の柴原孝彦教授、新講座である口腔病態外科学講座主任の片倉朗教授よりそれぞれ説明があった。

また、総会の後に行われた講演会では、平成27年4月1日よりオーラルメディシン・口腔外科学講座主任に就任された野村武史教授より、市川総合病院が担う口腔



榎本洋史会長



柴原教授



片倉教授



野村教授



乾杯

外科の役割というテーマでの講演が行われた。

講演会の後、一般会員57名、現

役会員69名の合計126名で盛大に懇親会が開催された。

（平成14年卒 別所央城 記）



大先輩



昭和入局会員



平成入局会員

すいどうばし

読書 案内

歯科ワーキングプアに警鐘

田中幾太郎著 残る歯科医 消える歯科医 賤界展望新社



安藤三男（昭和37年卒）

歯科業界がワーキングプアと言われてから久しい。病気で言えば末期症状であるが、根本的な治療をする人は誰もいない。この事実は傍目には信じられない。医療ジャーナリストである著者は歯科医療の最新データを駆使して、歯科界に警鐘を鳴らしている。

開業医の3割が赤字

医療経済実態調査によれば、2012年歯科医1人あたりの年収が1096万円で4年前より240万円も減っている。また歯科医療白書によれば、開業医の年収450万以下が3割に達している。しかも歯科診療所の数は年々増加し'13年には6万8700個所と過去最高を記録、膨らみきった風船に空気を送れば破裂する。帝国データバンクによれば'13年の歯科の倒産は13件、13年前から通算すると148件になる。歯科の3割が赤字経営では、やむを得ない。

一般病院勤務医の'12年の年収1450万円で開業医はそれより300万円も少ない。医歯薬剤師調査によれば、'13年の歯科の開業医8万7100人、歯科大附属病院勤務医9600人に対し、一般病院勤務はわずか2900人で、開業する歯科医が増加するのは当然で、歯科疾患が減少し、歯科の不況は年々増している。

まさに貧すれば鈍するで、お先真っ暗である。唯一の希望の光であったインプラントブームにもブレーキがかかり、先行き不透明である。インプラントを巡る裁判が全国各地で発生、ついに死亡事故まで起きるに至り、メディアのバッシングも手伝いブームにとどめを刺す。

歯科医過剰の喜悲劇

1960年代戦後の日本経済が復興、砂糖の消費量が増大し、それに伴い虫歯が急増、全国どこの歯科医院も満員の盛況で、3時間待って3分治療の神風診療、医は算術と揶揄され、歯科医療不審の記事が全国新聞紙上を賑わし、大きな社会問題となった。旧厚生省と文部省はこの歯科医不足を解消するため、歯科大を7校から29校に急増させ、これが今日の歯科医過剰を引き起こした。この為歯科医療費の増大につながり、保険財政を圧迫し、これを解消する為、厚労省は歯科医師国家試験を難しくして合格者の削減を図ると共に、歯科医が最も恐れる刺客、医療指導官「別名」医療Gメンによる保険診療の不正請求摘発に乗り出し、個別指導の手口はますます辛辣になる。ここにまた歯科の悲喜劇が起る。'90年代半ばに京都で、'00年半ばに東京でいずれも

歯科医と指導官との癒着による贈収賄事件が起り逮捕者が出るなど、全国新聞紙上を賑わし歯科医療不審が起る。

新興私立歯大に異変

国試合格者の削減は新興私立歯科大に“異変”が起る。'13年最低修業年限での国試合格者は、国立76.8%、公立75.8%、私立53.8%となっている。この中で新興私立の5校が50%を下回る。この為入学受験者が激減し6年間の学納金5690万円を1868万円に値下げした大学、学納金を値下げしても入学者は定員の20%に満たない大学、国試合格率を上げるため留年させ、その留年率が30%になる大学など問題が多く、存亡の危機と案じられている。この歯科業界不況を乗り切るためにはどうするか、本書は見てのお楽しみとおこう。

本書を是非お読みいただき歯科の現状を把握し長期展望に立って歯科医療の将来を見据えてほしい。歯科には医学的な技術とアートの技能があり、この両者を研鑽し、歯科医の目線ではなく患者の目線に立って良質な歯科医療を提供すれば必ず道は開けよう。患者の目線が重要で、「歯科医たる前に人たれ」の血脇イズムに通じる。

関東女性歯科医師の会

山梨女性歯科医会

中 野 いずみ（昭和63年卒）

平成17年に発足し、今回で11回目となった『平成27年度関東女性歯科医師の会』が、平成27年10月3日（土）、山梨県「山梨女性歯科医会」の当番で、甲府富士屋ホテルにて開催されました。

山梨県内での開催は初めてで、数日前まで接近していた台風の影響も心配されましたが、当日は天候にも恵まれ1都7県で75名の会員が参集、午後4時より総会とグループワークが、次いで午後7時より懇親会が行われました。

総会は前年度当番の栃木県女性歯科医師の会からの会計報告、各都県の活動報告と進み、その後今回は、例年の講演会にかわる初の試みとしてグループワークを行いました。

「女性歯科医師の未来をバラ色にするには」「関東女性歯科医師の会が果たす役割について」のテーマのもと、7～8名ずつ各都県入り交じって10テーブルに分かれ、それぞれの意見、アイデアなどを出して話し合い、最後にテーブル毎に発表するという形式でした。やや緊張気味に自己紹介から始まったものの、10分も経たないうちにどのテーブルからも笑い声やどよめきが聞こえ、ざっくばらんに活発な意見、情報交換ができている様子がうかがわれ、後の発表でもユーモアたっぷりの体験談や女性ならではの意見に、各々励まされたり共感したり…と有意義なひとときでした。そして、尽き

ない会話は懇親会へと続き、卓上の甲州ワインが進むほどにさらに盛り上がりを見せたことはいうまでもありません。

こうしてお互い顔を突き合わせて話し合うことで、年代、地域、あるいは開業か勤務かといった立場を超えた交流ができ、本会の目的の一つである会員間の親睦がより一層深まったように思いました。

と同時に、近年女性歯科学生が全体の半数を超え、女性歯科医師が増えつつある状況を見ると、今後は、“女性ならではの”視点に加えて“歯科医師として”その個性や能力を男性女性に関わらず最大限に生かすことができる環境、体制がもっと整えられたらいいなと感じました。

今回参加頂いた本学出身の先生方は18名で、各都県でご活躍の様子。また山梨女性歯科医会でも、会員61名中15名と多くの同窓の先



生がいらっしやいます。心強い限りです。

来年度は、佐々木葉子先生（昭和60年卒）が現在副会長を務める千葉県が主管となり、平成28年10月16日（日）に開催予定です。

大勢の会員の先生方が、再会と交流を楽しみにしていることと思います。

ご入会希望の先生もぜひ…。



庶務日誌

11月

1) 理事会

11月25日(水) 第5回常任理事会

2) 委員会

11月4日(水) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会(小委員会)

4日(水) 事業推進部アカデミア情報オンデマンド配信検討会

5日(木) 渉外部渉外委員会

5日(木) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

9日(月) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 式典・講演会小委員会および受付・クローク・誘導等運営打合せ会

13日(金) 広報部広報委員会

13日(金) 事業推進部アカデミア情報オンデマンド配信検討会(小委員会)

16日(月) 会務運営協議会

18日(水) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 祝賀会小委員会

18日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

20日(金) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会 式典・講演会小委員会

22日(日) 渉外部渉外委員会

24日(火) 事業推進部アカデミア情報オンデマンド配信検討会(小委員会)

28日(土) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会(式典・講演会・祝賀会前日準備)

28日(土) 選挙管理委員会

3) 出張

11月7日(土) 秋田県支部総会 矢崎会長出席
学術講演会 講師・阿部伸一教授(母校)

14日(土) 九州地域支部連合会総会

矢崎会長, 福本常任理事, 田部理事出席

14日(土) 島根県支部総会 浮地副会長出席
学術講演会 講師・柴原孝彦教授(母校)

15日(日) 東北地域支部連合会支部長会
高橋専務理事, 椎木理事出席

19日(木) 東京地域支部連合会支部長会
矢崎会長, 早速理事出席

22日(日) 富山県支部学術講演会
講師・片倉 朗教授(母校)

4) 事業

11月8日(日) TDC アカデミア2015
臨床セミナー 矯正セミナー

11日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修
TDC 研修倶楽部

18日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修
DSM

26日(木) TDC アカデミア2015 卒後研修
歯科臨床を語る会

28日(土) 同窓会創立120周年記念囲碁大会

29日(日) 同窓会創立120周年記念式典・講演会・祝賀会

5) 評議員会

11月28日(土) 平成27年度評議員会

12月

1) 理事会

12月19日(土) 第6回理事会

2) 委員会

12月4日(金) 事業推進部卒後研修委員会

7日(月) 渉外部渉外委員会

10日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会委員会

11日(金) 広報部広報委員会

12日(土) 事業推進部卒後研修委員会・医療教養委員会・臨床セミナー委員会第2

回全体委員会
 14日(月) 会務運営協議会
 14日(月) 同窓会創立120周年記念実行委員会
 16日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
 17日(木) 二校会主催若手研修セミナー反省会
 25日(金) 事業推進部社会保障制度研究委員会

3) 出張

12月3日(木) 大学幹部・父兄会役員との懇談会
 矢崎会長出席
 5日(土) 東京地域支部連合会総会
 矢崎会長、早速理事出席
 5日(土) 愛媛県支部総会 小池常任理事出席
 学術講演会 講師・石原和幸教授
 (母校)
 6日(日) 茨城県支部総会 矢崎会長出席
 学術講演会 講師・一木 努氏(茨城県開業)
 6日(日) 栃木県支部総会
 佐々木常任理事出席
 学術講演会 講師・杉原直樹教授
 (母校)
 6日(日) 千葉県支部総会 玉井副会長出席

6日(日) 愛知県支部総会 浮地副会長出席
 6日(日) 熊本県支部総会 高橋常任理事出席
 学術講演会 講師・阿部伸一教授
 (母校)
 6日(日) 神奈川県支部連合同窓会総会
 財部副会長出席
 9日(水) 横須賀鎌倉支部総会
 玉井副会長出席
 12日(土) 神奈川西湘支部総会
 学術講演会 講師・古澤成博教授
 (母校)
 12日(土) 山梨県支部総会 高野常任理事出席
 学術講演会 講師・山下秀一郎教授
 (母校)
 13日(日) 静岡県支部総会 宮地副会長出席
 21日(月) 大学支部総会

4) 事業

12月9日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修
 TDC 研修倶楽部
 16日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修
 DSM
 24日(木) TDC アカデミア2015 卒後研修
 歯科臨床を語る会



逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 42 卒	熊 谷 肇 男 (75歳)	神奈川県川崎市	27. 9. 24
●平 6 卒	原 田 博 之 (45歳)	東京都杉並区	27. 5. 12
●昭 62 卒	中 川 仁 志 (53歳)	新潟県新発田市	27. 10. 9
●昭 26 卒	山 田 保 (87歳)	東京都世田谷区	27. 10. 16
●昭 29 卒	本 間 菖 平 (86歳)	東京都福生市	27. 10. 21
●昭 34 卒	秀 守 生 (83歳)	東京都練馬区	27. 9. 30
●昭 27 卒	関 山 敬 次 (89歳)	茨城県日立市	27. 7. 20
●昭 24 卒	川 崎 義 典 (86歳)	愛知県一宮市	27. 10. 28
●昭 27 卒	石 川 欣 彌 (85歳)	東京都世田谷区	27. 10. 26
●昭 23 卒	熱 田 和 夫 (90歳)	千葉県千葉市	27. 10. 20
●昭 45 卒	小 野 喬 (69歳)	宮城県仙台市	27. 10. 24
●昭 40 卒	木 村 敏 幸 (75歳)	静岡県静岡市	27. 11. 11
●昭 34 卒	横 矢 重 忠 (80歳)	東京都目黒区	27. 11. 12
●昭 18.9 卒	竹 田 貞 一 (92歳)	山形県米沢市	27. 11. 12
●昭 36 卒	北 原 正 典 (78歳)	東京都新宿区	26. 10. 15
●昭 23 卒	稲 野 八 郎 (89歳)	大阪府大阪市	27. 11. 14
●昭 27 卒	齋 藤 英 輔 (85歳)	北海道小樽市	27. 11. 19
●昭 19.9 卒	石 井 研 二 (91 歳)	茨城県土浦市	27. 11. 20
●昭 42 卒	松 川 清 三 (72歳)	北海道札幌市	27. 11. 21
●昭 41 卒	衣 松 博 玄 (74歳)	東京都目黒区	27. 12. 1
●昭 17.9 卒	古 屋 貞 治 (93歳)	東京都三鷹市	27. 11. 28
●昭 17.9 卒	坂 正 義 (93歳)	千葉県香取市	27. 11. 25
●昭 20.9 卒	国 米 資 康 (92歳)	兵庫県伊丹市	27. 11. 17



◆投 稿 規 定

※平成26年度より、偶数月発行から年間4回（2，6，10，12月）の発行になりました。

- (1) 原稿締め切り
原稿の締め切りは、発行前月の10日までとし、原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投 稿 様 式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は1行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ（2Lなど）で集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (4) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真の場合は、その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

(5) 投 稿 字 数

投稿欄	内容	文字数、備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想、詩、短歌、 時評など	1編1,700字程度（1ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや、取り止めのない随筆はご遠慮いただき、出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		1ページ1,700字程度（1ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当、会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当、数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚、同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ

<http://tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/> をご覧下さい。

投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し、同封をお願いします。

お名前（漢字）	フリガナ		所属支部	支部
卒業年数（どれか1つ）	（昭和・平成・西暦） _____ 年卒 / _____ 期卒			
住所（自宅・勤務先）	〒 _____			
電話番号（自宅・連絡先）	— —	FAX 番号	— —	
投稿先 ☐ に✓印チェック	同窓会会報	☐ カラーグラビア ☐ ふるさと自慢 ☐ クラス会だより	☐ 追悼 ☐ すいどうばし ☐ OB, グループ・サークル	☐ 支部のうごき ☐ いなげ
貼付写真枚数	枚			
その他ご希望	（例 写真の順番・重要度など）			

◆へんしゅうこうき

- ★2015年11月29日東京歯科大学同窓会創立120周年記念式典・記念講演会・祝賀会が約800名の参加者のもと盛大に挙行された。
- ★肅々と進められた式典，東京歯科大学と同窓会の歴史とこれからの目指す方向性が簡潔にまとめられた講演，和気藹々と楽しい時を過ごすことの出来た祝賀会であった。
- ★中でもオペラユニット「レジェンド」とともに校歌を歌った時の何ともいえない一体感は忘れられない。（「醫はこれ済生 ひとへに仁なり」の部分の歌声がやはり大きくなっていたが）
- ★ところで私は歯科関係の集まり等で「東歯らしいですね」とか「やっぱり東歯ですか」とよく言われるが，それは言い回しからして称賛の言葉のように感じる。
- ★今回，120周年記念号の会報編集や記念の会に参加して，東歯らしさが何であるかの一部に触れることができた。
- ★先ほどの校歌の一節もその一つではあるが決して簡単な言葉では表現できない。
- ★それは高山先生，血脇先生の思いをもとに東京歯科大学に関係した多くの人達によって培われたものであり，場の理論というか東京歯科大学という場で学ぶことによって自然と身につけている。
- ★そして，自分も東歯の一員として東歯らしさを後輩たちに伝えていく一人であることを認識させられた。
- ★一番歴史の長い歯科大であるという自負を持ち，先代が築いてきた伝統を崩すことなくさらに発展させ，東歯らしさがますます称賛の言葉となるようにと願っている。
- ★今回の行事が滞りなく盛大に催されたのは2年前から準備を進めた関係各位の努力に加え東歯らしさが結集された成果であろう。（皆川雅彦 記）



記念式典での国歌斉唱。
詳細は次号にご期待下さい。

広報部広報委員会

委員長 白田 準
副委員長 福井 雅之
山口 雅史
委員 古澤 成博
奥野 圭子
佐々木 葉子
皆川 雅彦
渡邊 宇一
島田 篤
西村 哲雄
横田 東生

広報部担当理事 小池 修

平成27年12月20日 印刷

平成27年12月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第402号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 小 池 修

編集人 白 田 準

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)

平成27年度 評議員会

(報告)

平成27年11月28日(土)
於 如水会館 2階 スターホール

平成27年度東京歯科大学同窓会評議員会 (午前10時00分～午後3時00分)

- | | |
|---|---|
| 1. 開 会 の 辞 | (監 査 報 告) |
| 1. 点 呼 | 第 6 号議案 評議員の選任および会議に係る会則の改正 |
| 1. 会 長 挨 拶 | 第 7 号議案 選挙規則の改正 |
| 1. 来 賓 挨 拶 | 第 8 号議案 平成28年度 事業計画 |
| 1. 議長, 副議長選出 | 第 9 号議案 平成28年度 入会金および会費 |
| 1. 議 事 録 署 名 人 | 第10号議案 平成28年度 経常部収支予算 |
| 1. 黙 祷 | 第11号議案 平成28年度 共済負担金 |
| 1. 報 告 | 第12号議案 平成28年度 特別会計収支予算
(高山・血脇記念同窓会基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立120周年記念事業積立金) |
| (1) 平成27年度 会務報告 | 第13号議案 平成28年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支予算 |
| (2) 平成27年度 会計現況報告(財産の廃棄処分を含む) | 第14号議案 平成28年度 時局対策費積立金会計収支予算 |
| 1. 東京歯科大学の現況 | 第15号議案 役員改選 |
| 1. 叙勲/褒章受章者顕彰式 | 第16号議案 選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出 |
| 1. 議 事 | 1. 協 議 |
| 第 1 号議案 平成26年度 経常部収支決算 | (1) 支部未加入者対策について |
| 第 2 号議案 平成26年度 特別会計収支決算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 高山・血脇記念同窓会基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金, 同窓会創立120周年記念事業積立金) | (2) 叙勲/褒章受章者顕彰式について |
| 第 3 号議案 平成26年度 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金収支決算 | (3) その他 |
| 第 4 号議案 平成26年度 時局対策費積立金会計収支決算 | 1. 閉 会 の 辞 |
| 第 5 号議案 平成26年度 財産目録 | |

平成27年度東京歯科大学同窓会会務報告

(自 平成26年9月1日)
(至 平成27年8月31日)

1. 現在会員数	9,124名				浮地副会長, 臼井・山田各理事出席
内					学術講演会 講師・浅田英夫氏(日本天文学会会員)
名 誉 会 員	32名				
共済負担金免除会員	816名		10日(水)	広報部広報委員会	
高 齢 会 員	415名		10日(水)	渉外部渉外委員会	
新 進 会 員	614名		11日(木)	同窓会創立120周年記念誌打合せ	
(支部加入266名, 支部未加入348名)			12日(金)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会	
不 明 会 員	1,052名		12日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(Na6臨床実技セミナー打合せ)	
2. 会員の移動			13日(土)	北海道医療大学歯学部同窓会三十周年記念式典・記念祝賀会	
新 入 会 員	118名				矢崎会長出席
(本年度卒業生	116名)				
(他	2名)				
逝 去 会 員	114名		15日(月・祝)	同窓会主催全国ゴルフ大会(おむらさきゴルフ倶楽部)	
退 会 会 員	1名		16日(火)	会務運営協議会	
3. 会 議			20日(土)	第5回理事会	
評 議 員 会	1回		21日(日)	TDC 卒後研修セミナー2014 卒研セミナーNa5臨床セミナー「困った…! 義歯の悩み解消します」	
学年代表者会	1回		22日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(Na6臨床実技セミナー最終予演会)	
新進会員のつどい	1回		23日(火・祝)	第1回二校会講演会	
東歯関係日歯役員・代議員と			24日(水)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会	
同窓会役員懇談会	2回		25日(木)	事業推進部医療教養委員会	
理 事 会	5回		26日(金)	東京地域支部連合会学術講演会 講師・片倉 朗教授(母校)	
常 任 理 事 会	5回		27日(土)	長野県連合会総会	
監 査 会	1回				高橋専務理事出席
各 種 委 員 会	168回				学術講演会 講師・小宮山彌太郎先生(東京都開業)
TDC アカデミア	32回		27日(土)	北海道地域支部連合会学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)	
連絡会・打合せ等	16回		27日(土)	東京地域支部連合会城北ブロック役員連絡協議会 矢崎会長出席	
4. 役員出張	71回(109名)		29日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)	
5. 支部数	108支部		29日(月)	総務・厚生部総務厚生委員会	
6. 地域支部連合会数	11地域支部連合会		30日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画会議	
北海道地域, 東北地域, 関東地域, 東京地域,			30日(火)	総務関係連絡会	
信越地域, 東海地域, 北陸地域, 近畿地域,			10月 1日(水)	アカデミア事業連絡会	
中国地域, 四国地域, 九州地域			3日(金)	事業推進部若手ネットワーク委員会	
7. 会 務 報 告			3日(金)	事業推進部社会保障制度研究委員会	
平成26年			4日(土)	北陸地域支部連合会支部長会	
9月 2日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(Na6臨床実技セミナー打合せ)				
4日(木)	事業推進部社会保障制度研究委員会				
5日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(Na5臨床セミナー最終予演会)				
5日(金)	学術事業交流についての協議会				
7日(日)	関東地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 高橋専務理事, 高原理事出席				
	学術講演会 講師・埴 章一非常勤講師(茨城県開業)				
7日(日)	東海地域支部連合会総会・支部長会				

	高橋専務理事, 伊藤理事出席		員会祝賀会小委員会
6日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)	11日(火)	新進会員のつどい準備会(予演会)
6日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会祝賀会小委員会	12日(水)	広報部広報委員会
7日(火)	事業推進部医療教養委員会	13日(木)	東京地域支部連合会保険講習会 矢崎会長出席
10日(金)	広報部広報委員会	15日(土)	東京地域支部連合会城西ブロック総会 矢崎会長出席
10日(金)	学術事業交流についての協議会	17日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ
12日(日)	TDC 卒後研修セミナー2014 卒研セミナーNo6臨床実技セミナー「MTM 新時代」	18日(火)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会
14日(火)	深川・城東支部学術講演会 講師・井出吉信学長(母校)	24日(月・祝)	近畿地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 高橋専務理事, 戸村理事出席
14日(火)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ	25日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画会議
18日(土)	東京地域支部連合会江東六地区役員連絡協議会 高野理事出席	26日(水)	渉外部渉外委員会(小委員会)
18日(土)	葛飾支部学術講演会 講師・稲葉孝夫先生(東京都開業)	26日(水)	総務・厚生部ゴルフ大会委員会
19日(日)	東北地域支部連合会支部長会 高橋専務理事, 椎木理事出席	27日(木)	事業推進部臨床セミナー委員会(プログラム委員会・エンドセミナー打合せ)
20日(月)	事業推進部社会保障制度研究委員会	29日(土)	熊本県支部総会 小池理事出席 学術講演会 講師・齋藤 淳教授(母校)
21日(火)	渉外部渉外委員会	30日(日)	愛知県支部総会 蛭谷理事出席
21日(火)	総務関係連絡会	30日(日)	新進会員のつどい
22日(水)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会	12月 4日(木)	大学幹部・父兄会役員との懇談会 矢崎会長出席
23日(木)	東京地域支部連合会支部長会 矢崎会長, 早速理事出席	5日(金)	渉外部渉外委員会
25日(土)	北多摩支部学術講演会 講師・齋藤淳教授(母校)	6日(土)	東京地域支部連合会総会 矢崎会長, 早速理事出席
26日(日)	第46回東歯祭および歯学体成績報告会 矢崎会長出席	6日(土)	茨城県支部総会 宮地副会長出席 学術講演会 講師・宮地建夫先生(東京都開業)
27日(月)	会務運営協議会	6日(土)	島根県支部総会 財部副会長出席 学術講演会 講師・古澤成博教授(母校)
27日(月)	事業推進部アカデミア生涯研修企画会議	6日(土)	愛媛県支部総会 福本理事出席 学術講演会 講師・齋藤 淳教授(母校)
29日(水)	事業推進部社会保障制度研究委員会(研究会)	6日(土)	横須賀鎌倉支部総会 寺田理事出席
30日(木)	総務関係連絡会	7日(日)	千葉県支部総会 矢崎会長出席
11月 1日(土)	第6回理事会	7日(日)	栃木県支部総会 小池理事出席 学術講演会 講師・関谷和夫先生(栃木県開業)
2日(日)	平成26年度評議員会	7日(日)	神奈川県支部連合同窓会総会 浮地副会長出席
6日(木)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会祝賀会小委員会	8日(月)	会務運営協議会
7日(金)	事業推進部社会保障制度研究委員会	9日(火)	事業推進部社会保障制度研究委員会
8日(土)	九州地域支部連合会総会・支部長会 浮地副会長, 高橋専務理事, 田部理事出席	10日(水)	広報部広報委員会
8日(土)	全国歯科大学同窓・校友会懇話会 矢崎会長, 宮地副会長, 高野理事出席		
9日(日)	中国地域支部連合会支部長会 宮地副会長, 伊丹理事出席		
10日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委		

11日(木) 学術事業交流についての協議会
 13日(土) 事業推進部卒後研修委員会, 医療教養委員会, 臨床セミナー委員会, 第2回全体委員会
 13日(土) 山梨県支部総会 矢崎会長出席
 学術講演会 講師・川越元久先生(神奈川県開業)
 13日(土) 神奈川西湘支部学術講演会 講師・佐藤 亨教授(母校)
 14日(日) 静岡県支部総会 高橋専務理事出席
 学術講演会 講師・阿部伸一教授(母校)
 15日(月) 大学支部総会 矢崎会長出席
 16日(火) 事業推進部アカデミア生涯研修企画会議
 17日(水) 第5回常任理事会
 18日(木) 総務・厚生部総務厚生委員会
 18日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(プログラム委員会・エンドセミナー打合せ)
 22日(月) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ
 24日(水) 評議員会・都道府県代表者会のあり方に対する検討会

平成27年

1月 5日(月) 会務運営協議会
 6日(火) 千代田支部新年会 矢崎会長出席
 9日(金) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会
 13日(火) 事業推進部社会保障制度研究委員会
 14日(水) 第1回常任理事会
 14日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部
 15日(木) 井出学長との座談会
 16日(金) 広報部広報委員会
 16日(金) 事業推進部卒後研修委員会
 16日(金) 芝支部総会 矢崎会長出席
 17日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会 矢崎会長, 他役員出席
 20日(火) 渉外部渉外委員会
 20日(火) 事業推進部医療教養委員会
 21日(水) TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM
 22日(木) TDC アカデミア2015 卒後研修 歯科臨床を語る会
 22日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(エンドセミナー打合せ)
 25日(日) 三重県支部総会 浮地副会長出席
 学術講演会 講師・森永一喜准教授(母校)
 25日(日) 東京医科歯科大学歯科同窓会新年名

刺交換会 矢崎会長, 白井理事出席
 25日(日) 全国歯科大学同窓・校友会学術担当者連絡会準備会
 26日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)
 26日(月) 平成26年度新進会員のつどい準備会
 29日(木) TDC アカデミア2015 医療教養 リベラルアーツ・リレー講座第1回『和食って素敵』～世界に誇る和食のすばらしさ～
 30日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会
 30日(金) 浅草・下谷支部合同新年会 矢崎会長出席
 2月 2日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)
 2日(月) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会祝賀会小委員会
 3日(火) 事業推進部卒後研修委員会(ベリックセミナー打合せ)
 3日(火) 事業推進部アカデミア検討会
 4日(水) 事業推進部社会保障制度研究委員会
 4日(水) 事業推進部臨床セミナー委員会(ペリオセミナー打合せ)
 5日(木) 広報部広報委員会(小委員会)
 8日(日) 岡山県支部総会 宮地副会長出席
 学術講演会 講師・宮地建夫先生(東京都開業)
 8日(日) 埼玉県支部新年会 矢崎会長出席
 9日(月) TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部
 9日(月) 事業推進部臨床セミナー委員会(2016年プログラム委員会)
 12日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(エンドセミナー打合せ)
 12日(木) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会
 13日(金) 事業推進部臨床セミナー委員会(スタッフセミナー打合せ)
 13日(金) 広報部広報委員会
 14日(土) 事業推進部臨床セミナー委員会(エンドセミナー打合せ)
 14日(土) 世水会創立80周年記念祝賀会(世田谷支部) 矢崎会長出席
 14日(土) 北多摩支部総会 白井理事出席
 16日(月) 会務運営協議会
 17日(火) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ
 17日(火) 二校会主催若手研修セミナー打合せ
 17日(火) 事業推進部医療教養委員会
 18日(水) TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM
 19日(木) 事業推進部臨床セミナー委員会(補

	綴セミナー打合せ)	19日(木)	市川総合病院臨床研修医修了者への オリエンテーション
19日(木)	広報部広報委員会(小委員会)	20日(金)	水道橋病院臨床研修医修了者へのオ リエンテーション
21日(土)	第1回理事会	23日(月)	千葉病院臨床研修医修了者へのオリ エンテーション
24日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画 会議	23日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(補 綴セミナー打合せ)
25日(水)	事業推進部社会保障制度研究委員会	24日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(エ ンドセミナー打合せ)
26日(木)	TDC アカデミア2015 医療教養 フロンランナーセミナー No.1歯 科医たる前に人たれ〜社会は我々歯 科界に何を求めてきたか〜	25日(水)	同窓会創立120周年記念事業実行委 員会記念誌打合せ
28日(土)	全国歯科大学同窓会・校友会・日歯 連盟参与会議 矢崎会長出席	26日(木)	TDC アカデミア2015 卒後研修 歯科臨床を語る会
3月 1日(日)	滋賀県支部総会 学術講演会 講師・石井拓男教授 (母校)	27日(金)	総務・厚生部新進会員のつどい実行 委員会
3日(火)	事業推進部卒後研修委員会(ベー シックセミナー打合せ)	28日(土)	日本大学歯学部同窓会第2回桜会 高野理事出席
4日(水)	事業推進部社会保障制度研究委員会	28日(土)	北海道地域支部連合会臨時総会・支 部長会 佐々木・佐藤各理事出席
5日(木)	六歯科大学歯学部校友会同窓会懇談 会		学術講演会 講師・白須賀貴樹先生 (衆議院議員)
6日(金)	東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒 業証書授与式 矢崎会長出席	30日(月)	事業推進部社会保障制度研究委員会
6日(金)	渉外部渉外委員会	31日(火)	事業推進部卒後研修委員会(ベー シックセミナー打合せ)
6日(金)	広報部広報委員会(小委員会)	4月 1日(水)	渉外部渉外委員会
7日(土)	選挙管理委員会	2日(木)	東京歯科大学大学院歯学研究科入学 式 矢崎会長出席
7日(土)	事業推進部若手ネットワーク委員会		東京歯科大学大学院歯学研究科入学 者へのオリエンテーション
7日(土)	青森県支部総会 寺田理事出席 学術講演会 講師・山本 仁教授 (母校)	2日(木)	TDC アカデミア2015 医療教養 口腔保健オープン・フォーラム第1 回『学校保健でのフッ化物の活用』
9日(月)	会務運営協議会	3日(金)	東京歯科大学歯科衛生士専門学校入 学式 矢崎会長出席
10日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会 (2016年プログラム委員会)	4日(土)	山形県支部総会 臼井理事出席 学術講演会 講師・宝田恭子先生 (東京都開業)
11日(水)	TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部	5日(日)	東京歯科大学入学式 矢崎会長出席
12日(木)	東歯関係日歯役員・代議員と同窓会 役員との懇談会懇親会	6日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委 員会委員長・副委員長打合せ会
13日(金)	新入会員オリエンテーション	7日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(エ ンドセミナー最終予演会)
13日(金)	同窓会創立120周年記念事業実行委 員会委員長・副委員長打合せ会	8日(水)	TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部
14日(土)	群馬県支部総会 財部副会長出席	9日(木)	東京地域支部連合会支部長会 矢崎会長、早速理事出席
15日(日)	第120回東京歯科大学卒業証書・学 位記授与式 矢崎会長出席 第120期卒業生主催謝恩会 矢崎会長出席	10日(金)	広報部広報委員会
16日(月)	広報部広報委員会	11日(土)	広島県支部総会 学術講演会 講師・柴原孝彦教授 (母校)
17日(火)	総務・厚生部総務厚生委員会		
17日(火)	事業推進部アカデミア情報オンデマ ンド配信検討会		
18日(水)	第2回常任理事会		
18日(水)	事業推進部医療教養委員会		
18日(水)	TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM		

13日(月)	会務運営協議会		TDC 研修倶楽部
14日(火)	二校会主催若手研修セミナー打合せ	14日(木)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会式典・講演会小委員会および講演会打合せ
14日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)	15日(金)	広報部広報委員会
15日(水)	TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM	15日(金)	事業推進部アカデミア情報オンデマンド配信検討会
15日(水)	事業推進部臨床セミナー委員会(ペリオセミナー打合せ)	15日(金)	渉外部渉外委員会
15日(水)	第108回歯科医師国家試験反省会並びに第6学年修学指導担当者慰労会 矢崎会長, 宮地・浮地・玉井・藤原・財部各副会長, 高橋専務理事出席	16日(土)	四国地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 臼井理事出席
17日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(2016年プログラム委員会)	学術講演会 講師・白須賀貴樹先生(衆議院議員), 島村 大先生(参議院議員)	
18日(土)	第2回理事会	17日(日)	TDC アカデミア2015 卒後研修ベーシックセミナー 欠損歯列の見方
18日(土)・19日(日)	同窓会創立120周年記念事業に係わる野口英世記念館および吉田東伍記念博物館の視察と情報収集	19日(火)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会
20日(月)	同窓会創立120周年記念事業座談会	20日(水)	TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM
20日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(エンドセミナー打合せ)	20日(水)	第3回常任理事会
21日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(研究委員会B)	21日(木)	TDC アカデミア2015 医療教養口腔保健オープン・フォーラム第2回『地域での成人歯科保健の展開』
22日(水)	事業推進部卒後研修委員会(ベーシックセミナーチューターミーティング)	22日(金)	京橋支部・日本橋支部合同学術講演会 講師・阿部 修先生(東京都開業)
23日(木)	TDC アカデミア2015 卒後研修歯科臨床を語る会	22日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)
23日(木)	事業推進部社会保障制度研究委員会	24日(日)	東北大学歯学部創立五十周年同窓会 発足四十周年記念式典・祝賀会 矢崎会長出席
25日(土)	宮城県支部総会 矢崎会長出席 学術講演会 講師・新谷誠康教授(母校)	26日(火)	監査会
25日(土)・26日(日)	TDC アカデミア2015 臨床セミナーエンドセミナー 今こそ見直そう!あなたの根管治療~根管治療の最新知識と基本技術の習得2日間コース~	26日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(2016年プログラム委員会)
26日(日)	東京都女性歯科医師の会記念講演会・祝賀会 矢崎会長出席	27日(水)	東京地域支部連合会中央ブロック役員協議会 臼井理事出席
27日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)	28日(木)	TDC アカデミア2015 卒後研修歯科臨床を語る会
28日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(スタッフセミナー最終予演会)	28日(木)	事業推進部社会保障制度研究委員会
5月 7日(木)	事業推進部卒後研修委員会(ベーシックセミナー最終予演会)	29日(金)	事業推進部若手ネットワーク委員会
7日(木)	総務・厚生部ゴルフ大会委員会	29日(金)	総務・厚生部総務厚生委員会
11日(月)	会務運営協議会	29日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(ペリオセミナー打合せ)
11日(月)	事業推進部医療教養委員会	29日(金)	渋谷支部総会 浮地副会長出席 学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)
12日(火)	事業推進部卒後研修委員会(ベーシックセミナー打合せ)	30日(土)	福岡県支部総会 宮地副会長出席 学術講演会 講師・宮地建夫先生(東京都開業)
13日(水)	TDC アカデミア2015 卒後研修	30日(土)・31日(日)	全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会

31日(日)	TDC アカデミア2015 臨床セミナー スタッフセミナー 歯科衛生士に必要な口腔インプラント治療の知識～インプラント治療を始めると言われて慌てないために～	7月 1日(水)	事業推進部卒後研修委員会
6月 1日(月)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ	2日(木)	総務・厚生部ゴルフ大会委員会
2日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(矯正セミナー打合せ)	4日(土)	新潟県支部総会 財部副会長出席 学術講演会 講師・上田貴之准教授(母校)
8日(月)	事業推進部卒後研修委員会	5日(日)	TDC アカデミア2015 臨床セミナー ペリオセミナー ティッシュ・マネジメントのファーストステップ
10日(水)	会務運営協議会	5日(日)	埼玉県支部総会 矢崎会長出席 学術講演会 講師・亀山敦史准教授(母校)
10日(水)	TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部	6日(月)	会務運営協議会
11日(木)	渉外部渉外委員会	8日(水)	TDC アカデミア2015 卒後研修 TDC 研修倶楽部
12日(金)	広報部広報委員会	9日(木)	千葉県支部学術講演会 講師・渡辺文男氏(吉田東伍記念博物館館長)
13日(土)	第3回理事会	10日(金)	広報部広報委員会
14日(日)	同窓会創立120周年記念事業報告墓参	11日(土)	中国地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 臼井・伊丹各理事出席 学術講演会 講師・佐藤 亨教授(母校)
16日(火)	事業推進部臨床セミナー委員会(ペリオセミナー最終予演会)	11日(土)	群馬県支部学術講演会 講師・石上恵一特任教授(母校)
17日(水)	TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM	12日(日)	静岡県支部学術講演会 講師・佐藤亨教授(母校)
17日(水)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会祝賀会小委員会	12日(日)	愛知県支部学術講演会 講師・阿部二郎先生(東京都開業)
18日(木)	東歯関係日歯役員・代議員と同窓会役員との懇談会懇親会	13日(月)	同窓会創立120周年記念事業座談会
20日(土)	九州地域支部連合会支部長会 浮地副会長, 田部理事出席	13日(月)	事業推進部医療教養委員会
22日(月)	事業推進部医療教養委員会	15日(水)	TDCアカデミア2015 卒後研修 DSM
23日(火)	事業推進部アカデミア生涯研修企画会議	15日(水)	第4回常任理事会
25日(木)	TDC アカデミア2015 卒後研修 歯科臨床を語る会	17日(金)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会祝賀会小委員会
26日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)	18日(土)	事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)
26日(金)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会委員長・副委員長打合せ会	18日(土)	札幌支部学術講演会 講師・高野正行准教授(母校)
27日(土)	近畿地域支部連合会支部長会 高橋専務理事, 戸村理事出席	20日(月・祝)	学年代表者会
27日(土)	東北地域支部連合会総会・支部長会 矢崎会長, 臼井・椎木各理事出席 学術講演会 講師・古澤成博教授(母校)	22日(水)	東京地域支部連合会学術講演会 講師・阿部 修先生(東京都開業)
29日(月)	総務・厚生部総務厚生委員会	23日(木)	TDC アカデミア2015 卒後研修 歯科臨床を語る会
29日(月)	事業推進部臨床セミナー委員会(2016年プログラム委員会)	24日(金)	総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
29日(月)	広報部広報委員会(小委員会)	24日(金)	事業推進部臨床セミナー委員会(矯正セミナー打合せ)
29日(月)	事業推進部社会保障制度研究委員会	25日(土)	事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)
30日(火)	同窓会創立120周年記念事業実行委員会記念誌打合せ	25日(土)	中信支部学術講演会 講師・笠原正貴教授(母校)
30日(火)	事業推進部若手ネットワーク委員会(小委員会)		

25日(土)・26日(日) 全国歯科大学同窓・校友会懇話会
矢崎会長, 宮地副会長, 高野・佐々木各理事出席

28日(火) 事業推進部アカデミア情報オンデマンド配信検討会

28日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー打合せ)

29日(水) 事業推進部アカデミア生涯研修企画会議

30日(木) 総務・厚生部ゴルフ大会運営実行委員会

31日(金) 事業推進部卒後研修委員会

8月 4日(火) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会(小委員会)

4日(火) 事業推進部社会保障制度研究委員会

6日(木) 渉外部渉外委員会

7日(金) 総務関係連絡会

19日(水) TDC アカデミア2015 卒後研修DSM, TDC 研修倶楽部

20日(木) 東京地域支部連合会靖心会

矢崎会長出席

21日(金) 広報部広報委員会

23日(日) 115期創志会クラス会
矢崎会長, 高野理事出席

24日(月) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会式典・講演会小委員会

24日(月) 事業推進部若手ネットワーク委員会

25日(火) 事業推進部臨床セミナー委員会(補綴セミナー最終予演会)

26日(水) 総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会

27日(木) TDC アカデミア2015 卒後研修歯科臨床を語る会

28日(金) 同窓会創立120周年記念事業実行委員会

29日(土) 北多摩支部学術講演会 講師・大川延也先生(東京都開業)

30日(日) 事業推進部卒後研修委員会・医療教養委員会・臨床セミナー委員会・全体委員会

平成26年9月1日より平成27年8月31日までに逝去された会員は次のとおりです。

(敬称略)

滋賀県	立木 彌太郎	千代田	田村 博 貞	山形県	大沼 俊 哉	旭 川	高 橋 晃 久
横須賀鎌倉	大 石 彰	町 田	伏 見 浩	小 樽	平 井 茂 重	愛知県	伊 藤 隆
宮城県	梅 津 文 夫	徳島県	宮 井 章 良	静岡県	熊 澤 理恵子	京都府	西 村 眞 治
三重県	成 田 実 乃	渋谷	永 田 勝 彦	練 馬	瀧 龍 人	小 樽	伊 藤 剛
島根県	母 里 正	千葉県	宮 田 俊 昭	世田谷	中 尾 俊 郎	麻布赤坂	松 村 啓 史
千葉県	吉 崎 正 則	石川県	宮 本 春 秋	埼玉県	中 路 保 宏	横浜鶴見	鈴 木 裕
愛知県	羽田野 金 衛	世田谷	蒲 滋	香川県	黒 田 泰 行	大 森	高 山 基比古
長崎県	田 中 陽一郎	静岡県	鳥 居 達 也	広島県	伊 藤 郁 雄	横浜南部	ハッ橋 康 平
静岡県	高 木 二三男	品 川	佐 藤 忠 男	神奈川西湘	田 代 成 一	富 山 県	高 橋 日出夫
玉 川	横 瀬 和 夫	東 信	高 澤 孝 幸	愛知県	角 倉 功	神奈川相北	中 村 昭 仁
神奈川西湘	青 柳 信	山形県	松 岸 吉 晴	旭 川	盆子原 強	足 立	瀬 田 和 夫
小石川	水 島 謙 二	旭 川	木 津 武 久	岡山県	奥 信 子	徳島県	西 條 征 二
埼玉県	篠 正 昭	埼玉県	稲 葉 幸	千葉県	喜多詰 和 親	福島県	野 口 八九重
愛知県	川 崎 伸 人	福井県	中 山 正 規	川 崎	帋 田 尚 子	静岡県	工 藤 綾 乃
千葉県	市 原 泰 彦	神奈川相北	井 上 護	大分県	酒 井 次 郎	広島県	瀬 尾 正 巳
川 崎	丹 沢 之 彦	豊 島	岡 野 秀 俊	新潟県	永 野 敏 郎	千葉県	川 島 康
大阪府	川 本 知 雄	宮城県	藤 原 三 郎	横浜西部	品 川 明	群馬県	山 下 雄 司
横浜中央	米 津 宗 治	京都府	井 口 俊 介	板 橋	土 屋 豪	茨城県	塚 原 和 男
群馬県	清 見 能 久	静岡県	大 津 太 郎	横浜西部	恩 田 千 爾	杉 並	加 藤 元一郎
埼玉県	小 竹 正 人	大 森	村 田 愛	滋賀県	島 野 達 也	山形県	佐 藤 公 子
岐阜県	後 藤 恵 一	渋谷	南 忠 興	埼玉県	増 田 紀 男	新宿	中 井 真 里
愛媛県	久保田 晃	三重県	西 村 比 志	千葉県	山 本 清	愛知県	小野田 広 亮
世田谷	栗 山 美 子	静岡県	藤 原 雅 和	群馬県	眞 下 俊 一	山口県	中 川 正 二
岐阜県	鵜 飼 兵 衛	埼玉県	田 辺 久 人	静岡県	足 立 勝 南	南 信	長 瀬 宰 治
静岡県	丸 山 嘉 彦	群馬県	木 下 裕 之	杉 並	寺 川 國 秀	中 野	落 合 武
横浜鶴見	和 田 知 雄	新潟県	宇佐美 達	町 田	石 井 慎 一	横須賀鎌倉	森 田 多賀雄
島根県	財 間 敏 夫	熊本県	澤 田 宣 彦	中 信	廣 瀬 勇	世田谷	野 村 栄 一
岩手県	阿曾沼 肇	渋谷	陣之内 励 志	青森県	中 村 善佐衛門	品 川	田 中 悦
城 東	梅 田 昭 夫	八 南	土 橋 愛 敬				

※必ずしも支部所属とは限りません。

(届出順 以上 114名)

※この間にご逝去が確認された方を含みます。

総務・厚生部報告

(自 平成26年9月1日 至 平成27年8月31日)

1. 共済規程第6条第1項第一号に基づき弔慰共済金を支給した逝去会員は次のとおりです。

(敬称略)

滋賀県	立木 彌太郎	山形県	大沼 俊哉	旭川	高橋 晃久	横須賀鎌倉	大石 彰
町田	伏見 浩	小樽	平井 茂重	愛知県	伊藤 隆	宮城県	梅津 文夫
徳島県	宮井 章良	静岡県	熊澤 理恵子	京都府	西村 眞治	三重県	成田 実乃
渋谷	永田 勝彦	練馬	瀧 龍人	小樽	伊藤 剛	島根県	母里 正
千葉県	宮田 俊昭	世田谷	中尾 俊郎	麻布赤坂	松村 啓史	千葉県	吉崎 正則
石川県	宮本 春秋	埼玉県	中路 保宏	横浜鶴見	鈴木 裕	愛知県	羽田野 金衛
世田谷	蒲 滋	香川県	黒田 泰行	大森	高山 基比古	静岡県	鳥居 達也
広島県	伊藤 郁雄	横浜南部	八ッ橋 康平	静岡県	高木 二三男	品川	佐藤 忠男
神奈川西湘	田代 成一	富山県	高橋 日出夫	玉川	横瀬 和夫	東信	高澤 孝幸
愛知県	角倉 功	神奈川相北	中村 昭仁	神奈川西湘	青柳 信	山形県	松岸 吉晴
旭川	盆子原 強	足立	瀬田 和夫	旭川	木津 武久	岡山県	奥 信子
徳島県	西條 征二	埼玉県	篠 正昭	埼玉県	稲葉 幸	千葉県	喜多詰 和親
福島県	野口 八九重	愛知県	川崎 伸人	福井県	中山 正規	川崎	梶田 尚子
千葉県	市原 泰彦	神奈川相北	井上 護	大分県	酒井 次郎	広島県	瀬尾 正巳
川崎	丹沢 之彦	豊島	岡野 秀俊	新潟県	永野 敏郎	千葉県	川島 康
大阪府	川本 知雄	宮城県	藤原 三郎	横浜西部	品川 明	群馬県	山下 雄司
横浜中央	米津 宗治	京都府	井口 俊介	板橋	土屋 豪	茨城県	塚原 和男
群馬県	清見 能久	静岡県	大津 太郎	横浜西部	恩田 千爾	埼玉県	小竹 正人
大森	村田 愛	滋賀県	島野 達也	山形県	佐藤 公子	岐阜県	後藤 恵一
渋谷	南 忠興	埼玉県	増田 紀男	新宿	中井 真里	愛媛県	久保田 晃
三重県	西村 比志	愛知県	小野田 広亮	群馬県	眞下 俊一	山口県	中川 正二
岐阜県	鵜飼 兵衛	静岡県	足立 勝南	南信	長瀬 宰治	静岡県	丸山 嘉彦
群馬県	木下 裕之	中野	落合 武	横浜鶴見	和田 知雄	新潟県	宇佐美 達
町田	石井 愼一	横須賀鎌倉	森田 多賀雄	島根県	財間 敏夫	熊本県	澤田 宣彦
中 信	廣瀬 勇	世田谷	野村 栄一	岩手県	阿曾沼 肇	渋谷	陣之内 励志
青森県	中村 善佐衛門	品川	田中 悦	城 東	梅田 昭夫	八 南	土橋 愛敬

※必ずしも支部所属とは限りません。

(届出順 以上 104名)

第1号議案

平成26年度 経常部収支決算

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
会 費	98,680,000 ^円	94,264,000 ^円	4,416,000 ^円	95.5 [%]	平成26年度分 4,358人 79,528,000円 平成25年度分 373人 6,122,000円 平成24年度以前分 486人 8,614,000円 合計 5,217人 94,264,000円 平成26年度 18,000円×4,186人 新進会員 10,000円× 49人 新入会員 30,000円× 123人 平成25年度 18,000円× 299人 新進会員 10,000円× 74人 平成1年度 14,000円× 4人 平成2年度 14,000円× 5人 平成3年度 14,000円× 3人 平成4年度 14,000円× 3人 平成5年度 14,000円× 5人 平成6年度 14,000円× 5人 平成7年度 14,000円× 4人 平成8年度 14,000円× 5人 平成9年度 14,000円× 5人 平成10年度 14,000円× 7人 平成11年度 20,000円× 6人 平成12年度 20,000円× 8人 平成13年度 20,000円× 11人 平成14年度 18,000円× 12人 平成15年度 18,000円× 17人 平成16年度 18,000円× 28人 平成17年度 18,000円× 25人 平成18年度 18,000円× 29人 平成19年度 18,000円× 26人 平成20年度 18,000円× 34人 平成21年度 18,000円× 44人 平成22年度 18,000円× 48人 平成23年度 18,000円× 63人 平成24年度 18,000円× 89人 合計 486人
入会金	10,000	25,000	△ 15,000	250.0	新卒者 0円× 123人 推薦会員 5,000円× 4人 大学院修了者 5,000円× 1人
雑収入	1,620,000	1,825,090	△ 205,090	112.7	
収入計	100,310,000	96,114,090	4,195,910	95.8	
前年度繰越金	10,000,000	11,171,614	△ 1,171,614	111.7	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 11,013,836円 三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 99,090円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 0円 ゆうちょ銀行 通常貯金 58,688円
合 計	110,310,000	107,285,704	3,024,296	97.3	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	34,580,000 ^円	34,558,258 ^円	21,742 ^円	99.9 [%]	
給与費	20,350,000	22,311,576	△ 1,961,576	109.6	
福利厚生費	960,000	999,316	△ 39,316	104.1	
地代家賃	4,230,000	4,245,000	△ 15,000	100.4	
通信費	1,690,000	1,282,068	407,932	75.9	
印刷費	1,250,000	760,977	489,023	60.9	
備品購入費	480,000	0	480,000	0.0	
消耗品費	510,000	658,056	△ 148,056	129.0	
集金手数料	4,100,000	3,634,300	465,700	88.6	
保守管理委託費	830,000	528,762	301,238	63.7	
雑費	180,000	138,203	41,797	76.8	
事業費	56,830,000	53,747,545	3,082,455	94.6	
旅費交通費	23,200,000	21,949,907	1,250,093	94.6	
総務・厚生関係費	1,410,000	1,438,635	△ 28,635	102.0	
渉外関係費	1,690,000	1,082,175	607,825	64.0	
広報関係費	12,240,000	13,485,339	△ 1,245,339	110.2	
事業推進関係費	4,460,000	3,001,650	1,458,350	67.3	
会合費	1,000,000	702,000	298,000	70.2	
連合会・支部関係費	3,950,000	3,930,000	20,000	99.5	
交際費	5,250,000	4,433,933	816,067	84.5	
慶弔費	2,130,000	2,089,988	40,012	98.1	
雑費	1,500,000	1,633,918	△ 133,918	108.9	
会議費	2,700,000	2,232,461	467,539	82.7	
役員会費	70,000	0	70,000	0.0	
評議員会費	1,900,000	1,951,395	△ 51,395	102.7	平成26年11月2日開催
学年代表者会費	400,000	13,032	386,968	3.3	平成26年7月13日開催
雑費	330,000	268,034	61,966	81.2	
特別会計繰入金	4,110,000	4,125,000	△ 15,000	100.4	
同窓会基金	0	0	0		
血脇記念基金	0	0	0		
高山・血脇記念 同窓会基金	110,000	125,000	△ 15,000	113.6	
名簿積立金	4,000,000	4,000,000	0	100.0	
退職積立金	0	0	0		
同窓会創立120周年 記念事業積立金	0	0	0		
予備費	12,090,000	0	12,090,000	0.0	
支出計	110,310,000	94,663,264	15,646,736	85.8	
次年度繰越金	0	12,622,440	△ 12,622,440		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 11,927,868円 三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 635,870円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 0円 ゆうちょ銀行 通常貯金 58,702円
合 計	110,310,000	107,285,704	3,024,296	97.3	

第2号議案

平成26年度 同窓会基金収支決算

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 4,971,893円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 12,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 148,989円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
雑収入	0	0	0		
収入計	0	0	0		
前年度繰越金	29,300,166	29,270,882	29,284	99.9	
合 計	29,300,166	29,270,882	29,284	99.9	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
基金支出	円 29,300,166	円 29,270,882	円 29,284	% 99.9	高山・血脇記念同窓会基金へ移管
支出計	29,300,166	29,270,882	29,284	99.9	
合 計	29,300,166	29,270,882	29,284	99.9	

平成26年度 血脇記念基金収支決算

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,236,925円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 4,000,000円
雑収入	0	0	0		
収入計	0	0	0		
前年度繰越金	5,245,950	5,236,925	9,025	99.8	
合 計	5,245,950	5,236,925	9,025	99.8	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
基金支出	円 5,245,950	円 5,236,925	円 9,025	% 99.8	高山・血脇記念同窓会基金へ移管
支出計	5,245,950	5,236,925	9,025	99.8	
合 計	5,245,950	5,236,925	9,025	99.8	

平成26年度 高山・血脇記念同窓会基金収支決算

自 平成26年 1 月 1 日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
基金収入	34,546,116 ^円	34,507,807 ^円	38,309 ^円	99.9 [%]	同窓会基金，血脇記念基金より移管 入会金 経常部より繰入 預金利息
繰入金	110,000	125,000	△ 15,000	113.6	
雑収入	10,000	6,373	3,627	63.7	
収入計	34,666,116	34,639,180	26,936	99.9	
前年度繰越金	0	0	0		
合 計	34,666,116	34,639,180	26,936	99.9	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金支出	5,000,000 ^円	5,000,000 ^円	0 ^円	100.0 [%]	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,337,743円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 16,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 151,437円 みずほ信託銀行 定期預金 12,150,000円
支出計	5,000,000	5,000,000	0	100.0	
次年度繰越金	29,666,116	29,639,180	26,936	99.9	
合 計	34,666,116	34,639,180	26,936	99.9	

平成26年度 共済基金収支決算

自 平成26年 1 月 1 日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
共済負担金	18,250,000 ^円	17,931,000 ^円	319,000 ^円	98.3 [%]	平成26年度分 4,735人 14,943,000円 平成25年度分 403人 1,209,000円 平成24年度以前分 506人 1,779,000円 合計 5,644人 17,931,000円 平成26年度分 3,000円×4,612人 新入会員 9,000円× 123人 平成25年度分 3,000円× 403人 平成1～20年度 4,000円× 261人 平成21～24年度 3,000円× 245人 合計 506人 預金利息
雑収入	100,000	16,502	83,498	16.5	
収入計	18,350,000	17,947,502	402,498	97.8	
前年度繰越金	84,920,000	85,625,340	△ 705,340	100.8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 6,936,880円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 75,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 238,460円 みずほ信託銀行 定期預金 3,450,000円
合 計	103,270,000	103,572,842	△ 302,842	100.3	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
共済金	18,850,000 ^円	12,900,000 ^円	5,950,000 ^円	68.4 [%]	弔慰共済金 8,750,000円 (@100,000×56件) (@50,000×63件) 罹災共済金 0円 80歳祝金 4,000,000円 (@50,000×80件) 100歳祝金 150,000円 (@50,000×3件)
事務費	240,000	132,184	107,816	55.1	弔慰金、祝金送料 他
予備費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
給付準備金	78,180,000	0	78,180,000	0.0	
支出計	103,270,000	13,032,184	90,237,816	12.6	
次年度繰越金	0	90,540,658	△ 90,540,658		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 11,851,471円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 75,000,000円 みずほ信託銀行 普通預金 239,187円 みずほ信託銀行 定期預金 3,450,000円
合 計	103,270,000	103,572,842	△ 302,842	100.3	

平成26年度 名簿積立金収支決算

自 平成26年 1 月 1 日

至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 4,000,000	円 4,000,000	円 0	% 100.0	経常部より繰入
広告料収入	0	2,320,000	△ 2,320,000		
雑収入	10,000	1,160	8,840	11.6	預金利息
収入計	4,010,000	6,321,160	△ 2,311,160	157.6	
前年度繰越金	8,000,622	7,991,465	9,157	99.9	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 7,991,465円
合 計	12,010,622	14,312,625	△ 2,302,003	119.2	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
名簿作成費	円 8,000,000	円 0	円 8,000,000	% 0.0	
通信費	4,000,000	258,717	3,741,283	6.5	
印刷費	0	90,463	△ 90,463		
雑費	10,622	0	10,622	0.0	
支出計	12,010,622	349,180	11,661,442	2.9	
次年度繰越金	0	13,963,445	△13,963,445		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 13,963,445円
合 計	12,010,622	14,312,625	△ 2,302,003	119.2	

平成26年度 退職積立金収支決算

自 平成26年 1 月 1 日

至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	% 0.0	
雑収入	10,000	1,374	8,626	13.7	預金利息
収入計	10,000	1,374	8,626	13.7	
前年度繰越金	9,169,579	9,160,685	8,894	99.9	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 9,160,685円
合 計	9,179,579	9,162,059	17,520	99.8	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
退職金支出	円 0	円 0	円 0	% 0.0	
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	9,179,579	9,162,059	17,520	99.8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 9,162,059円
合 計	9,179,579	9,162,059	17,520	99.8	

平成26年度 同窓会創立120周年記念事業積立金収支決算

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 5,000,000	円 5,000,000	円 0	% 100.0	高山・血脇記念同窓会基金より繰入 預金利息
雑収入	10,000	160	9,840	1.6	
収入計	5,010,000	5,000,160	9,840	99.8	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 1,000,099円
前年度繰越金	1,000,000	1,000,099	△ 99	100.0	
合 計	6,010,000	6,000,259	9,741	99.8	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
記念事業関係費	円 0	円 0	円 0	%	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 6,000,259円
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	6,010,000	6,000,259	9,741	99.8	
合 計	6,010,000	6,000,259	9,741	99.8	

第3号議案 平成26年度 卒後研修セミナー収支決算

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
受講料	13,866,000	5,585,000	8,281,000	40.3	No.1 臨床実技セミナー 極めよう!! 外科小手術と顎顔面の解剖学 2,080,000円 〔受講割引なし〕 60,000×24人 1,440,000円 〔受講割引あり〕 50,000×12人 600,000円 40,000×1人 40,000円 No.2 ベーシックセミナー 初診時に求められる診査・診断のスキル 21,000円 3,000×7人 21,000円 No.3 臨床セミナー 診療の基本技術 456,000円 〔受講割引なし〕 10,000×32人 320,000円 〔受講割引あり〕 8,000×17人 136,000円 No.4 臨床セミナー どうして定期健診を受診してくれないの? 168,000円 3,000×56人 168,000円 No.5 臨床セミナー 困った…! 義歯の悩み解消します 980,000円 〔受講割引なし〕 30,000×22人 660,000円 〔受講割引あり〕 20,000×16人 320,000円 No.6 臨床実技セミナー MTM新時代 930,000円 〔受講割引なし〕 60,000×8人 480,000円 〔受講割引あり〕 50,000×9人 450,000円 特別企画 インプラントセミナー —臨床から基礎へ、基礎から臨床へ— 950,000円 100,000×3人 300,000円 60,000×7人 420,000円 30,000×5人 150,000円 20,000×4人 80,000円 合計 5,585,000円
雑収入	20,000	533	19,467	2.7	預金利息
繰入金収入	1,200,000	1,200,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より繰入
収入計	15,086,000	6,785,533	8,300,467	45.0	
前年度繰越金	1,500,000	2,708,382	△ 1,208,382	180.6	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 2,708,382円
合 計	16,586,000	9,493,915	7,092,085	57.2	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
事務費	560,000 ^円	218,298 ^円	341,702 ^円	39.0 [%]	
通信運搬費	500,000	197,826	302,174	39.6	
消耗品費	50,000	19,847	30,153	39.7	
雑費	10,000	625	9,375	6.3	
事業費	13,000,000	8,210,471	4,789,529	63.2	
講師謝礼費	3,000,000	1,980,000	1,020,000	66.0	
講師旅費交通費	1,400,000	594,780	805,220	42.5	
資料作成費	800,000	840,000	△ 40,000	105.0	
役務費	1,000,000	625,000	375,000	62.5	
実習器材費	3,300,000	1,714,469	1,585,531	52.0	
設営費	1,600,000	299,169	1,300,831	18.7	
印刷広報費	500,000	707,150	△ 207,150	141.4	
受講証関係費	200,000	16,873	183,127	8.4	
広告費	900,000	1,208,040	△ 308,040	134.2	
渉外費	100,000	24,990	75,010	25.0	
会場費	200,000	200,000	0	100.0	
公租公課	400,000	233,800	166,200	58.5	
予備費	2,626,000	0	2,626,000	0.0	
支出計	16,586,000	8,662,569	7,923,431	52.2	
次年度繰越金	0	831,346	△ 831,346		三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 831,346円
合 計	16,586,000	9,493,915	7,092,085	57.2	

平成26年度 卒後研修セミナー積立金収支決算

自 平成26年 1 月 1 日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
雑収入	円 20,000	円 3,473	円 16,527	% 17.4	預金利息
収入計	20,000	3,473	16,527	17.4	
前年度繰越金	17,372,290	17,355,099	17,191	99.9	みずほ信託銀行 普通預金 155,099円 みずほ信託銀行 定期預金 17,200,000円
合 計	17,392,290	17,358,572	33,718	99.8	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金支出	円 1,200,000	円 1,200,000	円 0	% 100.0	卒後研修セミナー会計へ繰入 振込手数料
通信費	0	864	△ 864		
支出計	1,200,000	1,200,864	△ 864	100.1	
次年度繰越金	16,192,290	16,157,708	34,582	99.8	みずほ信託銀行 普通預金 157,708円 みずほ信託銀行 定期預金 16,000,000円
合 計	17,392,290	17,358,572	33,718	99.8	

第 4 号議案 平成26年度 時局対策費積立金会計収支決算

自 平成26年 1 月 1 日
至 平成26年12月31日

収入の部

△印＝予算額に比較し増額の場合

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
繰入金	円 0	円 0	円 0	%	預金利息
雑収入	40,000	3,327	36,673	8.3	
収入計	40,000	3,327	36,673	8.3	
前年度繰越金	24,231,627	18,287,746	5,943,881	75.5	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 3,287,746円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 15,000,000円
合 計	24,271,627	18,291,073	5,980,554	75.4	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 額	比率	摘 要
支部加入促進費	円 3,000,000	円 0	円 3,000,000	% 0.0	
同窓会室移転関係費	0	2,387,590	△ 2,387,590		
協力金	0	350,000	△ 350,000		
通信費	0	1,929	△ 1,929		
支出計	3,000,000	2,739,519	260,481	91.3	
次年度繰越金	21,271,627	15,551,554	5,720,073	73.1	三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 551,554円 三菱東京 UFJ 銀行 定期預金 15,000,000円
合 計	24,271,627	18,291,073	5,980,554	75.4	

第5号議案

平成26年度 財産目録

平成26年12月31日

1. 備 品

機 器 備 品

品 目		数量	購入年月	購入価格	備 考
1	収納戸棚	3	H 9. 10	370,650	
2	書類保管庫	3	H13. 4	370,482	
3	プロジェクター	1	H14. 8	338,100	Epson
4	ビデオカメラ	1	H19. 12	138,906	
5	プロジェクター	1	H19. 12	279,800	
6	書類保管庫	1	H20. 9	115,815	
7	パソコン	1	H21. 2	248,000	A4W-IS
計 7 品 目		11		1,861,753	

消 耗 備 品

品 目		数 量	購入価格	備 考
1	片袖机 他	46点	1,617,499	

2. 普通預金，定期預金，通常預金

会 計 区 分	種 類	預金残高	取 引 銀 行
(1) 経 常 部	普通預金 〃 定期預金 通常預金	11,927,868 635,870 0 58,702	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃 〃 〃 神田三崎町郵便局
計		12,622,440	
(2) 共 済 基 金	普通預金 定期預金 普通預金 定期預金	11,851,471 75,000,000 239,187 3,450,000	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃 みずほ信託銀行 本 店 〃 〃
計		90,540,658	
(3) 同 窓 会 基 金	普通預金 定期預金 普通預金 定期預金	0 0 0 0	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃 みずほ信託銀行 本 店 〃 〃
計		0	
(4) 血 脇 記 念 基 金	普通預金 定期預金	0 0	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃
計		0	
(5) 高山・血脇記念同窓会基金	普通預金 定期預金 普通預金 定期預金 普通預金 定期預金	99,826 12,000,000 1,237,917 4,000,000 151,437 12,150,000	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃 〃 〃 〃 〃 みずほ信託銀行 本 店 〃 〃
計		29,639,180	
(6) 名 簿 積 立 金	普通預金	13,963,445	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		13,963,445	
(7) 退 職 積 立 金	普通預金	9,162,059	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		9,162,059	
(8) 同窓会創立120周年記念事業積立金	普通預金	6,000,259	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		6,000,259	
(9) 卒 後 研 修 セ ミ ナ ー	普通預金	831,346	三菱東京UFJ銀行 神保町支店
計		831,346	
(10) 卒 後 研 修 セ ミ ナ ー 積 立 金	普通預金 定期預金	157,708 16,000,000	みずほ信託銀行 本 店 〃 〃
計		16,157,708	
(11) 時 局 対 策 費 積 立 金	普通預金 定期預金	551,554 15,000,000	三菱東京UFJ銀行 神保町支店 〃 〃
計		15,551,554	
合 計		194,468,649	

監 査 報 告

平成26年度東京歯科大学同窓会業務運営状況及び経常部収支決算，特別会計収支決算（即ち，同窓会基金決算，血協記念基金決算，高山・血協記念同窓会基金決算，共済基金決算，名簿積立金決算，退職積立金決算，同窓会創120周年記念事業積立金決算），卒後研修セミナー収支決算，卒後研修セミナー積立金収支決算，時局対策費積立金会計収支決算，及び財産目録につき諸帳簿，証憑書類を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

平成27年5月26日

常任監事 梅 村 長 生 ⑩

監 事 春 山 良 夫 ⑩

監 事 矢 島 安 朝 ⑩

第 6 号議案 評議員の選任および会議に係る会則の改正

第 7 号議案 選挙規則の改正

総務・厚生部

1. 支部未入会者対策を講じる。
2. 準会員・新進会員との連携を深める。
3. 母校水道橋校舎整備事業に協力する。
4. 諸会合の準備・調整並びに運営を行う。
5. 会員現況の把握並びに名簿の補充管備を図る。
6. 母校・父兄会・学生との連携を図る。
7. 同窓会改革をすすめる、そのための会則等の見直しを行う。
8. 支部・地域支部連合会、都道府県代表者、学年代表者との情報交換を促進する。
9. 共済制度の健全なる運営を行う。
10. 会員厚生および親睦の充実を図る。
11. 女性会員の活動推進を検討する。
12. 同窓会創立120周年記念誌を発行する。

渉 外 部

1. 各歯科大学・大学歯学部と同窓会・校友会との交流を図り、緊密なる友好を深める。
2. 会員の歯科医政関係者との緊密な連携を保ち医政の推進を図る。
3. 母校との連携のもとに国・公・私的機関等と協力し、人材の確保、育成に努める。
4. 渉外活動に関する情報交換を進め、全国レベルでの情報の共有と集約を図る。
5. 東歯同窓国会議員を支える会を介して、東歯同窓国会議員を支援する。

広 報 部

1. 会報を発行する。
2. ホームページ・フェイスブックの維持管理を行う。
3. インターネットを通じた情報交換システムを検討推進する。
4. 同窓との交流のためのネットワークシステムを推進する。

事業推進部

1. 人材育成を目的とするアカデミア事業に関連委員会が連携をとって取り組む。
2. 地域支部連合会・支部における講演会や研修活動を支援する。
3. 各歯科大学・大学歯学部と同窓会・校友会学術担当者や社会保障関係者と交流を深める。
4. 生涯研修制度や歯科保健医療制度の動きを分析し、現状の課題を解説し将来を考察するシンクタンク機能の推進を図る。
5. 最新の学術情報の収集および分析を行い、整理蓄積する。

第9号議案

平成28年度 入会金および会費

平成28年度 入会金 本学出身の会員 0円
推薦会員 5,000円

平成28年度 会費 現行通り 18,000円
新進会員（卒後5年以内） 10,000円
大学支部に所属する推薦会員 10,000円

第10号議案

平成28年度 経常部収支予算

自 平成28年1月1日
至 平成28年12月31日

収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額 円	平成28年度予算額 円	対前年度増減 円	比率 %	摘 要
会費	95,360,000	92,000,000	3,360,000	96.5	平成28年度分 4,300人 78,120,000円 平成27年度分 430人 7,340,000円 平成26年度以前分 390人 6,548,000円 合計 5,120人 92,008,000円
入会金	10,000	10,000	0	100.0	新卒者入会金 0円 推薦会員入会金 5,000円× 2人
雑収入	1,570,000	1,130,000	440,000	72.0	会報広告料 他
繰入金収入	800,000	800,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より繰入
収入計	97,740,000	93,940,000	3,800,000	96.1	
前年度繰越金	8,000,000	8,000,000	0	100.0	
合 計	105,740,000	101,940,000	3,800,000	96.4	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
事務費	35,030,000	36,030,000	△ 1,000,000	102.9	会員情報管理データベースの 機能追加, 改修
給与費	21,700,000	21,820,000	△ 120,000	100.6	
福利厚生費	970,000	1,020,000	△ 50,000	105.2	
地代家賃	4,250,000	4,250,000	0	100.0	
通信費	1,580,000	1,530,000	50,000	96.8	
印刷費	1,040,000	890,000	150,000	85.6	
備品購入費	400,000	200,000	200,000	50.0	
消耗品費	370,000	330,000	40,000	89.2	
集金手数料	3,900,000	3,550,000	350,000	91.0	
保守管理委託費	650,000	590,000	60,000	90.8	
会員情報管理 システム改修費	0	1,700,000	△ 1,700,000		
雑費	170,000	150,000	20,000	88.2	
事業費	59,620,000	51,810,000	7,810,000	86.9	
旅費交通費	21,780,000	19,350,000	2,430,000	88.8	
総務・厚生関係費	3,920,000	4,165,000	△ 245,000	106.3	
渉外関係費	1,210,000	1,060,000	150,000	87.6	
広報関係費	12,740,000	12,365,000	375,000	97.1	
事業推進関係費	5,030,000	2,020,000	3,010,000	40.2	
会合費	500,000	500,000	0	100.0	
連合会・支部関係費	4,380,000	4,180,000	200,000	95.4	
交際費	6,300,000	4,440,000	1,860,000	70.5	
慶弔費	2,190,000	2,190,000	0	100.0	
雑費	1,570,000	1,540,000	30,000	98.1	
会議費	2,110,000	2,230,000	△ 120,000	105.7	
役員会費	10,000	10,000	0	100.0	
評議員会・ 都道府県代表者会費	1,700,000	1,900,000	△ 200,000	111.8	
学年代表者会費	100,000	30,000	70,000	30.0	
雑費	300,000	290,000	10,000	96.7	
特別会計繰入金	1,110,000	2,110,000	△ 1,000,000	190.1	
高山・血協記念 同窓会基金	110,000	110,000	0	100.0	
名簿積立金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	200.0	
支出計	97,870,000	92,180,000	5,690,000	94.2	
予備費	7,870,000	9,760,000	△ 1,890,000	124.0	
合 計	105,740,000	101,940,000	3,800,000	96.4	

第11号議案

平成28年度 共済負担金

平成28年度 共済負担金現行通り 3,000円

第12号議案

平成28年度 高山・血脇記念同窓会基金収支予算

自 平成28年1月1日
至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	110,000	110,000	0	100.0	入会金 10,000円 経常部より繰入 100,000円
雑収入	30,000	10,000	20,000	33.3	預金利息 他
収入計	140,000	120,000	20,000	85.7	
前年度繰越金	29,676,116	25,750,000	3,926,116	86.8	
合 計	29,816,116	25,870,000	3,946,116	86.8	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金支出	4,000,000	0	4,000,000	0.0	
支出計	4,000,000	0	4,000,000	0.0	
次年度繰越金	25,816,116	25,870,000	△ 53,884	100.2	
合 計	29,816,116	25,870,000	3,946,116	86.8	

平成28年度 共済基金収支予算

自 平成28年 1 月 1 日
至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
共済負担金	18,020,000	17,030,000	990,000	94.5	平成28年度分 4,624人 14,616,000円 平成27年度分 440人 1,320,000円 平成26年度以前分 356人 1,100,000円 合計 5,420人 17,036,000円
雑収入	100,000	100,000	0	100.0	預金利息 他
収入計	18,120,000	17,130,000	990,000	94.5	
前年度繰越金	84,500,000	80,000,000	4,500,000	94.7	
合 計	102,620,000	97,130,000	5,490,000	94.7	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
共済金	14,500,000	14,200,000	300,000	97.9	弔慰共済金 9,000,000円 (@100,000×55件) (@50,000×70件) 罹災共済金 500,000円 (@100,000×5件) 80歳祝金 4,500,000円 (@50,000×90件) 100歳祝金 200,000円 (@50,000×4件)
事務費	200,000	200,000	0	100.0	弔慰金, 祝金送料 他
支出計	14,700,000	14,400,000	300,000	98.0	
予備費	6,000,000	6,000,000	0	100.0	
給付準備金	81,920,000	76,730,000	5,190,000	93.7	
合 計	102,620,000	97,130,000	5,490,000	94.7	

平成28年度 名簿積立金収支予算

自 平成28年 1 月 1 日

至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	200.0	経常部より繰入 預金利息 他
雑収入	0	10,000	△ 10,000		
収入計	1,000,000	2,010,000	△ 1,010,000	201.0	
前年度繰越金	0	2,587,741	△ 2,587,741		
合 計	1,000,000	4,597,741	△ 3,597,741	459.8	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
名簿作成費	0	0	0		
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	1,000,000	4,597,741	△ 3,597,741	459.8	
合 計	1,000,000	4,597,741	△ 3,597,741	459.8	

平成28年度 退職積立金収支予算

自 平成28年 1 月 1 日

至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
雑収入	10,000	10,000	0	100.0	預金利息 他
収入計	10,000	10,000	0	100.0	
前年度繰越金	9,179,579	9,163,516	16,063	99.8	
合 計	9,189,579	9,173,516	16,063	99.8	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
退職金支出	0	0	0		
支出計	0	0	0		
次年度繰越金	9,189,579	9,173,516	16,063	99.8	
合 計	9,189,579	9,173,516	16,063	99.8	

平成28年度 同窓会創立120周年記念事業積立金収支予算

自 平成28年1月1日
至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	4,000,000	0	4,000,000	0.0	預金利息 他
雑収入	10,000	10,000	0	100.0	
収入計	4,010,000	10,000	4,000,000	0.2	
前年度繰越金	6,010,000	4,000,000	2,010,000	66.6	
合 計	10,020,000	4,010,000	6,010,000	40.0	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
記念式典等関係費	6,000,000	0	6,000,000	0.0	
記念誌等関係費	4,000,000	4,000,000	0	100.0	
雑費	20,000	10,000	10,000	50.0	
支出計	10,020,000	4,010,000	6,010,000	40.0	
次年度繰越金	0	0	0		
合 計	10,020,000	4,010,000	6,010,000	40.0	

第13号議案 平成28年度 卒後研修セミナー収支予算

自 平成28年 1 月 1 日

至 平成28年12月31日

収入の部

△印＝前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
受講料	8,276,000	5,360,000	2,916,000	64.8	臨床セミナー委員会セミナー セミナーNo1 顎関節症の診かたからマイクロストレッチ療法まで 528,000円 〔受講割引なし〕 12,000×24人 288,000円 〔受講割引あり〕 10,000×24人 240,000円 セミナーNo2 今こそ見直そう！あなたの根管治療2016 1,760,000円 〔受講割引なし〕 120,000× 8人 960,000円 〔受講割引あり〕 100,000× 8人 800,000円 セミナーNo3 明日からの臨床に活かせる歯の移植・再植！ 912,000円 〔受講割引なし〕 20,000×24人 480,000円 〔受講割引あり〕 18,000×24人 432,000円 セミナーNo4 明日から取り組めるコーススクローネ 2,160,000円 〔受講割引なし〕 100,000×12人 1,200,000円 〔受講割引あり〕 80,000×12人 960,000円 合計 5,360,000円
雑収入	20,000	20,000	0	100.0	預金利息 他
繰入金収入	1,200,000	1,200,000	0	100.0	卒後研修セミナー積立金より
収入計	9,496,000	6,580,000	2,916,000	69.3	
前年度繰越金	1,500,000	1,000,000	500,000	66.7	
合 計	10,996,000	7,580,000	3,416,000	68.9	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
事務費	540,000	490,000	50,000	90.7	
通信運搬費	500,000	450,000	50,000	90.0	
消耗品費	30,000	30,000	0	100.0	
雑費	10,000	10,000	0	100.0	
事業費	9,400,000	6,190,000	3,210,000	65.9	
講師謝礼費	1,500,000	1,370,000	130,000	91.3	講師 1,130,000円 実習講師, インストラクター等 240,000円
講師旅費交通費	1,300,000	330,000	970,000	25.4	
資料作成費	500,000	310,000	190,000	62.0	講師 260,000円 インストラクター等 150,000円
役務費	650,000	300,000	350,000	46.2	セミナー役務 60,000円 運営役務 60,000円 テキスト作成 80,000円 実習インストラクター 50,000円 症例発表 50,000円
実習器材費	2,800,000	1,500,000	1,300,000	53.6	模型, 器材 1,100,000円 テキスト 400,000円
設営費	700,000	550,000	150,000	78.6	スライド関連費 50,000円 運営資材費 100,000円 演者・委員昼食 200,000円 消耗品費 200,000円
印刷広報費	800,000	800,000	0	100.0	プログラム印刷 他
受講証関係費	50,000	50,000	0	100.0	
広告費	800,000	700,000	100,000	87.5	雑誌広告 他
渉外費	100,000	80,000	20,000	80.0	
会場費	200,000	200,000	0	100.0	講師打合せ会費 他
公租公課	400,000	400,000	0	100.0	
支出計	10,340,000	7,080,000	3,260,000	68.5	
予備費	656,000	500,000	156,000	76.2	
合 計	10,996,000	7,580,000	3,416,000	68.9	

平成28年度 卒後研修セミナー積立金収支予算

自 平成28年 1 月 1 日

至 平成28年12月31日

収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
雑収入	20,000	10,000	10,000	50.0	預金利息 他
収入計	20,000	10,000	10,000	50.0	
前年度繰越金	16,175,099	14,159,000	2,016,099	87.5	
合 計	16,195,099	14,169,000	2,026,099	87.5	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金支出	2,000,000	2,000,000	0	100.0	経常部へ繰入 800,000円 卒後研修セミナーへ繰入 1,200,000円
支出計	2,000,000	2,000,000	0	100.0	
次年度繰越金	14,195,099	12,169,000	2,026,099	85.7	
合 計	16,195,099	14,169,000	2,026,099	87.5	

第14号議案 平成28年度 時局対策費積立金会計収支予算

自 平成28年 1 月 1 日

至 平成28年12月31日

収入の部

△印 = 前年度予算額に比較し増額の場合

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
繰入金	2,000,000	1,500,000	500,000	75.0	経常部より繰入
雑収入	10,000	10,000	0	100.0	
収入計	2,010,000	1,510,000	500,000	75.1	
前年度繰越金	22,236,064	14,554,889	7,681,175	65.5	
合 計	24,246,064	16,064,889	8,181,175	66.3	

支出の部

科 目	平成27年度予算額	平成28年度予算額	対前年度増減	比率	摘 要
	円	円	円	%	
支部加入促進費	3,000,000	1,000,000	2,000,000	33.3	
支出計	3,000,000	1,000,000	2,000,000	33.3	
次年度繰越金	21,246,064	15,064,889	6,181,175	70.9	
合 計	24,246,064	16,064,889	8,181,175	66.3	

第16号議案 選挙管理委員・予備選挙管理委員の選出

協 議 題

- (1) 支部未加入者対策について
- (2) 叙勲/褒章受章者顕彰式について
- (3) その他